

京田辺市の緑に関するアンケート調査  
結果報告書

令和5年5月

## 目 次

### I 調査の概要

1 調査の目的 -----	1
2 調査概要 -----	1
3 報告書の見方 -----	2

### II 京田辺市の緑に関するアンケート調査結果

(市民アンケート調査、市民まつり参加者アンケート調査)

#### 1. あなたご自身のことについて教えてください

【問1】 あなたの居住地域を教えてください。-----	3
【問2】 あなたを含む、あなたのご家族は京田辺市に何年お住まいですか。-----	3
【問3】 あなたの年齢を教えてください。-----	4
【問4】 あなたの性別を教えてください。-----	4

#### 2. 京田辺市をとりまく緑の環境

【問5】 あなたが市内で、気軽にふれあったり、見て楽しんだりする緑はどれですか。また、その頻度はどのくらいですか。-----	5
【問6】 あなたの身のまわりの緑のうち、関心のある範囲をお聞きます。-----	7
【問7】 あなたが関心のある緑を守るために、どのような取り組みを進めるとよいと思いますか。-----	8
【問8】 緑を使った趣味や <sup>けんこう</sup> 健康づくりなど、あなたが取り組んでいる活動、または、今後取り組みたい活動はどれですか。-----	9
【問9】 緑をもっと楽しむために、必要なものは何ですか。問8で「取り組む予定はない」と回答された方については、何が支障となっていますか。-----	11
【問10】 緑をもっと楽しむために、本市の施策にあるどの分野と連携していくことが有効だと思いますか。-----	13
【問11】 普段目にされる街路樹についてお聞きます。街路樹の手入れについて、何を大事にするべきだと思いますか。-----	14

#### 3. 公園

【問12】 あなたは、公園をどのように利用していますか。-----	15
【問13】 あなたがよく利用する公園があれば、公園名とその利用頻度を具体的に教えてください。-----	16
【問14】 よく利用している公園を選んでいる理由、さらに改善して欲しい内容があれば、お教えてください。-----	17
【問15】 今後、市が大きな公園を作るとき、どんな施設があるとその公園に行きたくなくなりますか。-----	18
【問16】 小さな公園の中には、地域の子どもが減ったことなどにより、あまり利用されていないものがあります。そのような公園を、市民のみなさんに気持ちよく使っていただくには、地域のニーズに合わせることや、公園ごとの特徴や魅力を持たせることが必要と考えられます。そのために、当てはまるものはどれでしょうか。-----	20
【問17】 市内の全ての公園では、事前に許可をした場合を除き、危険なボール遊び、火気・花火の使用や犬の散歩をしないようになどお願いをしています。5,000㎡以上の下表の公園が、もっと利用しやすくなる	

ように、ルールを定めた上で行っても良いと思うものはどれですか。--	21
【問18】 市内の全ての公園で、みんなが気持ちよく公園を使えるようにするために、何が重要だと思いますか。-----	22

#### 4. 市民と行政、事業者との協働

【問19】 身のまわりの緑や公園を活用し、京田辺市を住みやすいまちにするために、あなたが取り組みたいと思う活動はありますか。-----	23
【問20】 現在実施している本市の緑化推進・支援事業について、効果的だと思いますか。-----	25
【問21】 市内の緑を守り続けていくために、行政はどのような活動との「協働」を深めていく必要があると思いますか。-----	26

#### 5. 緑の将来像及び自由記入

【問22】 京田辺市の10年後の緑の姿について、共感できるものは何ですか。-	27
【問23】 本市の緑や公園の魅力を高めていくアイデアやご意見など、自由に記入ください。-----	29

#### 6. 市民アンケート クロス集計

□ 居住地とのクロス集計	
【問1】居住地×【問5】ふれあう緑 -----	35
【問1】居住地×【問22】10年後の緑の姿 -----	36
□ 居住年数とのクロス集計	
【問2】居住年数×【問5】ふれあう緑 -----	37
□ 年齢とのクロス集計	
【問3】年齢×【問8】取り組んでいる・取り組みたい活動	
(1)散歩・ジョギング・サイクリング -----	38
(2)花や野菜、ハーブ栽培 -----	39
(3)講習会 -----	40
(4)野菜栽培 -----	41
(5)イベント参加 -----	42
【問3】年齢×【問15】大きな公園の施設 -----	43
【問3】年齢×【問22】10年後の緑の姿設 -----	44

### Ⅲ 京田辺市の街区公園に関するアンケート調査

#### (区・自治会アンケート)

#### 1. 街区公園に関するアンケート調査結果

【問1】 日常の街区公園の維持管理はどなた(外部へ委託も含む)が行っていますか。-----	45
【問2】 日常の街区公園の維持管理は、どれくらいの頻度で行っていますか。-----	45
【問3】(1) 区・自治会内でほとんど利用されていない公園はありますか。-----	46
【問3】(2) 上記で①であると回答された場合、今後の利用方法について考えられることがあれば教えてください。(複数回答あり)-----	46
自由意見 -----	47

# I アンケート調査の概要

## 1 調査の目的

京田辺市では、緑の保全や緑化の推進の指針となる「緑の基本計画」を平成13年に策定し、緑化施策に取り組んでいます。

本調査は、次期計画の検討に先立ち、市民みなさまの緑に関するお考えや、市の課題を把握することに加え、日頃より街区公園の維持管理に携わっていただいている区・自治会の方々の維持管理における課題や小さな街区公園の今後の活用方法における意向を把握することを目的として実施しました。

## 2 調査概要

### ① 京田辺市の緑に関するアンケート調査(市民アンケート)

- 調査期間 :令和 4 年 12 月 1 日~12 月 31 日
- 対 象 :市内在住の 18 歳以上の方の中から  
無作為抽出した 3,000 名
- 調査方法 :郵送配布・郵送回収または WEB での回答
- 調 査 票 :A4 縦 全 8 ページ
- 設 問 数 :問 1~問 23
- 回 答 数 :1,099 通(回収率:36.6%)

### ② 【市民まつりで実施】京田辺市の緑に関するアンケート調査 (市民まつり参加者アンケート)

- 調査期間 :令和 4 年 11 月 5 日~11 月 6 日
- 対 象 :市民まつり参加者の中で  
花苗プレゼントを希望する方
- 調査方法 :WEB での回答またはアンケート用紙での回答
- 調 査 票 :A4 縦 全 1 ページ
- 設 問 数 :問 1~問 6
- 回 答 数 :381 通

### ③ 京田辺市の街区公園に関するアンケート(区・自治会アンケート)

- 調査期間 : 令和 4 年 12 月 1 日～12 月 31 日
- 対 象 : 区・自治会代表者 48 団体
- 調査方法 : 郵送配布・郵送回収または WEB での回答
- 調 査 票 : A4 縦 全 1 ページ
- 設 問 数 : 問 1～問 4
- 回 答 数 : 40 通(回収率:83.3%)

### 3 報告書の見方

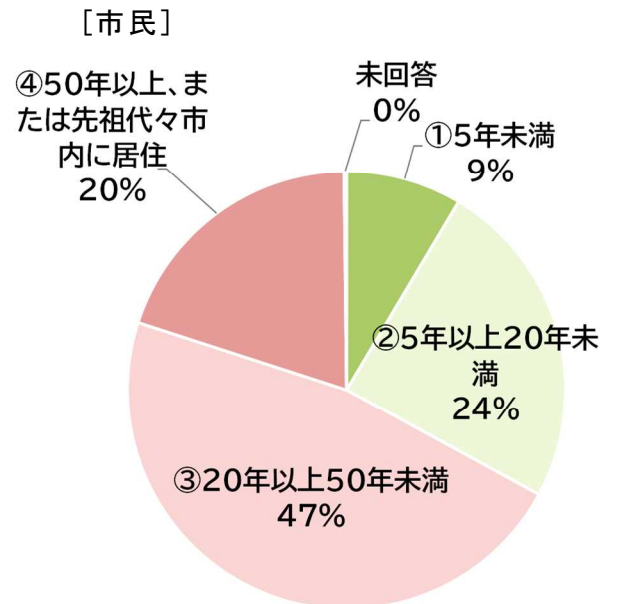
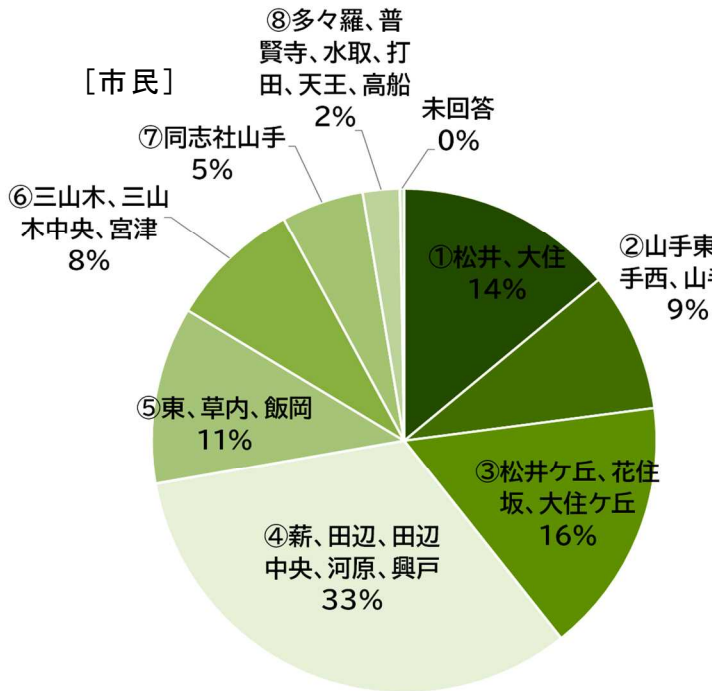
- ・ 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第1位で四捨五入したものです。そのため、単数回答(複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式)であっても合計値が100%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- ・ 複数回答(複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式)の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- ・ ②市民まつり参加者アンケートの設問は、①市民アンケートの設問から「【問1・3・4】あなたご自身のこと」、「【問8】取り組んでいる活動や今後取り組みたい活動」、「【問9】もっと楽しむために必要なもの」、「【問22】10年後の緑の姿」を抽出したものです。結果については、それぞれの設問で①と②のアンケート結果をならべて掲載しています。
- ・ ①市民アンケート及び③区・自治会アンケートについては、市民が対象ですが、②市民まつり参加者アンケートについては、市外在住者が含まれません。

## Ⅱ 京田辺市の緑に関するアンケート調査結果 (市民アンケート調査、市民まつり参加者アンケート調査)

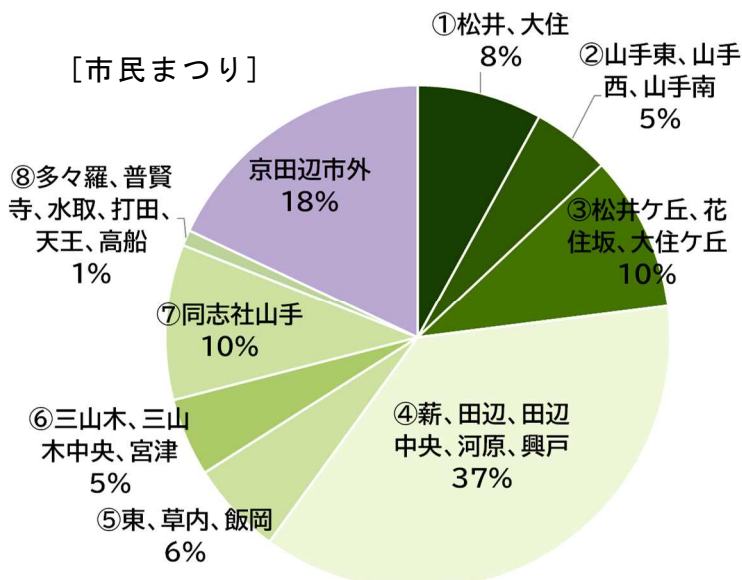
### 1. あなたご自身のことについて教えてください

【問1】あなたの居住地域を教えてください。(1つに○)

【問2】あなたを含む、あなたのご家族は京田辺市に何年お住まいですか。(1つに○)



項目	回答数	割合
①松井、大住	154	14%
②山手東、山手西、山手南	98	9%
③松井ヶ丘、花住坂、大住ヶ丘	180	16%
④薪、田辺、田辺中央、河原、興戸	362	33%
⑤東、草内、飯岡	125	11%
⑥三山木、三山木中央、宮津	93	8%
⑦同志社山手	58	5%
⑧多々羅、普賢寺、水取、打田、天王、高船	26	2%
未回答	3	0%
総計	1099	100%

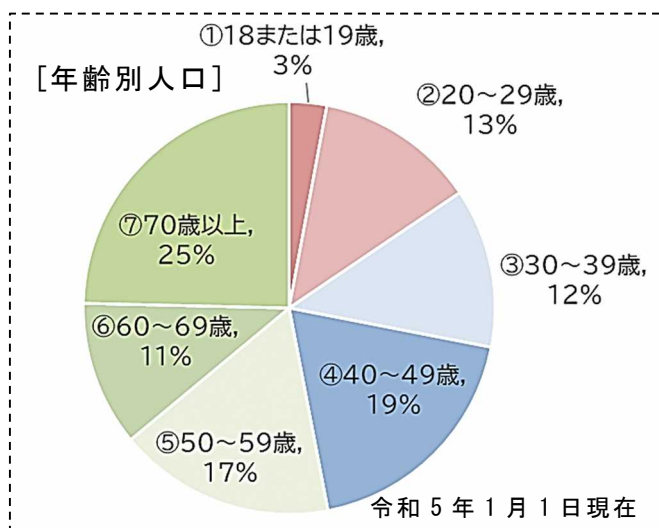
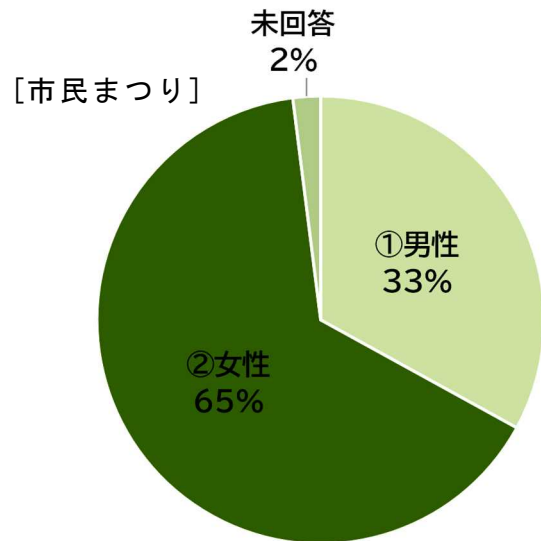
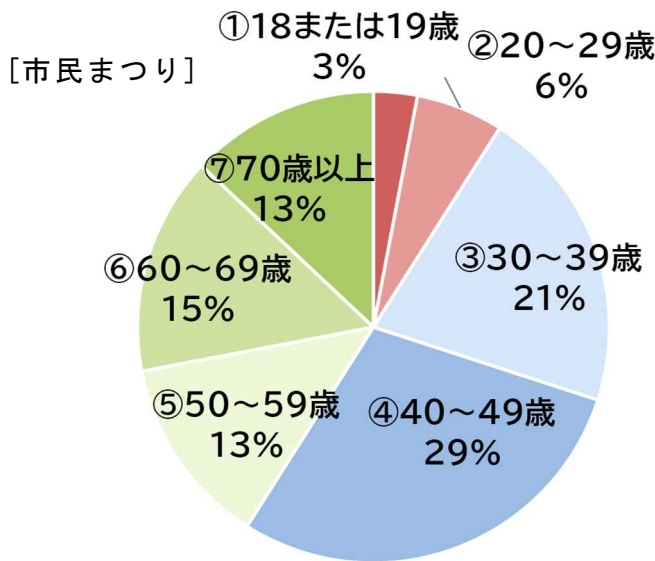
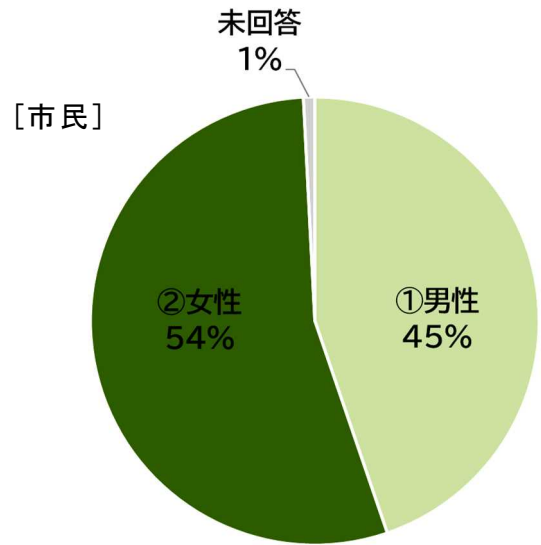
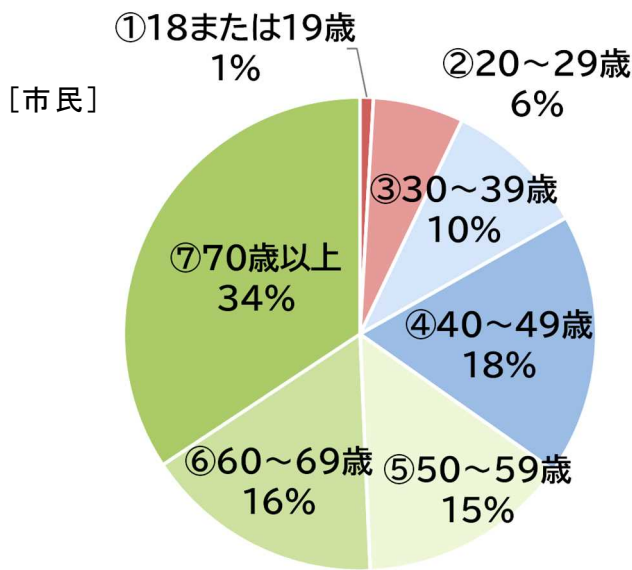


[市民]  
 ・④薪、田辺、田辺中央、河原、興戸の割合が最も多い。  
 ・以下、③松井ヶ丘、花住坂、大住ヶ丘 ①松井、大住 ⑤東、草内、飯岡の順に回答が多い。

[市民まつり]  
 ・京田辺市外が18%を占める。

【問3】あなたの年齢を教えてください。(1つに〇)

【問4】あなたの性別を教えてください。(1つに〇)



[市民]  
 ・年齢別人口の割合と比較して、⑦70歳以上の割合が多く、割合も最多である。

[市民まつり]  
 ・④40歳代の割合が最も多く、次いで③30歳代の回答が多い。  
 ・花苗を求めて、市民まつりイベントとして来訪する世代が該当すると思われる。

[共通]  
 ・実際の年齢別人口割合と比較して、②20歳代が少ない。  
 ・①男性よりも②女性の割合が多い。

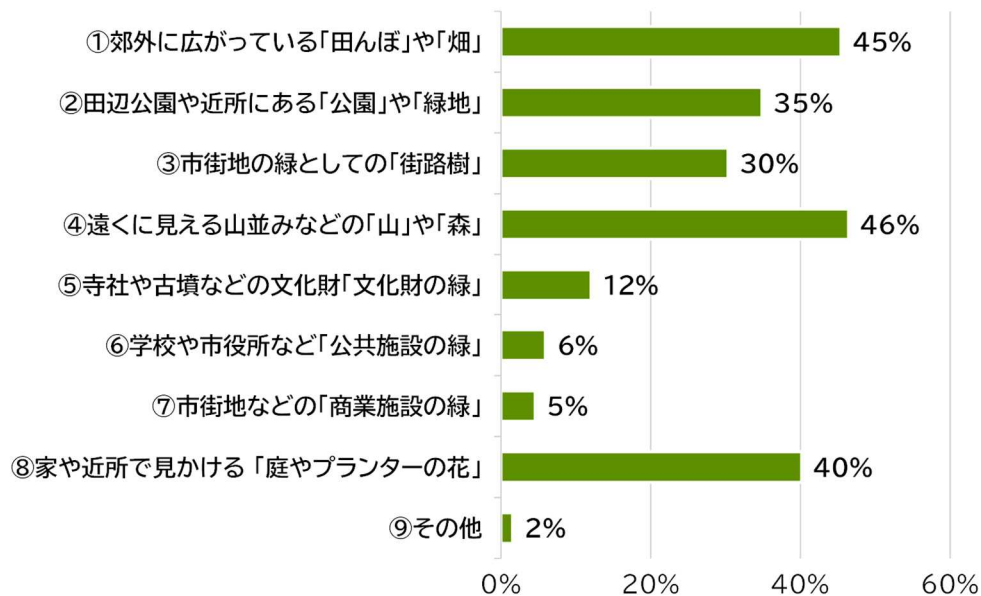
## 2. 京田辺市をとりまく緑の環境

※ 複数回答の設問について  
回答率の合計は、  
100%にならない

【問5】あなたが市内で、気軽にふれあったり、見て楽しんだりする緑はどれですか。また、その頻度はどのくらいですか。

(3つまで○)

[市民]



頻度	毎日	週に数回	月に数回	年に数回
①郊外に広がっている「田んぼ」や「畑」	247	133	43	1
②田辺公園や近所にある「公園」や「緑地」	91	146	75	7
③市街地の緑としての「街路樹」	193	81	18	3
④遠くに見える山並みなどの「山」や「森」	292	95	38	4
⑤寺社や古墳などの文化財「文化財の緑」	12	21	56	13
⑥学校や市役所など「公共施設の緑」	12	15	13	3
⑦市街地などの「商業施設の緑」	12	25	6	0
⑧家や近所で見かける「庭やプランターの花」	392	54	5	

【市民】

- ・身近に目にする自然地の緑として、④「山」や「森」、①「田んぼ」や「畑」にふれあう機会が非常に多い。
- ・次いで、⑧「庭やプランターの花」として、自宅の緑にふれあう機会も多い。
- ・4位以降に、公共の緑である②「公園」や「緑地」、③「街路樹」が続く。
- ・⑤「文化財の緑」、⑥「公共施設の緑」、⑦「商業施設の緑」とふれあう割合は低く、それほど関心は高くない状況である。
- ・頻度について、自由回答を4区分に分類し、最も多い区分を網掛けした。最も多い区分は、それぞれ異なっている。(上の表を参照)



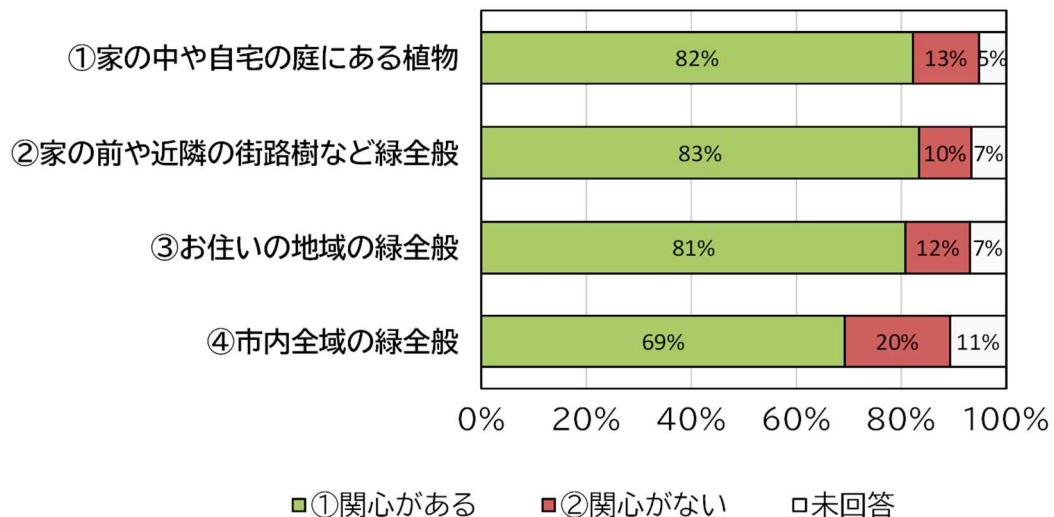
【問5】その他 の内訳 (抜粋)

木津川の堤防
手原川
広場
勤務地の緑
甘南備山の木々

【問6】 あなたの身のまわりの緑のうち、関心のある範囲をお聞きします。

(あてはまる方に○)

[市民]



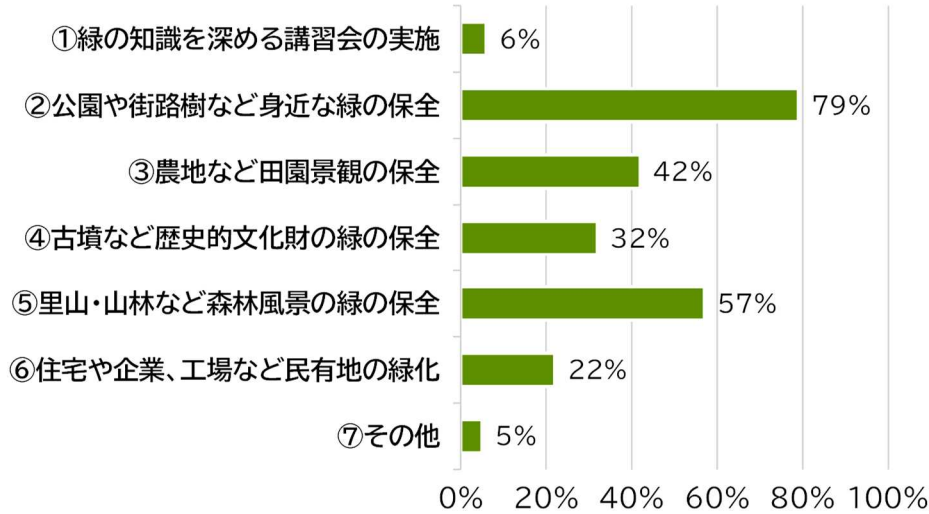
【市民】

- ・①家の中や自宅の庭にある植物、②家の前や近隣の街路樹など緑全般、③お住いの地域の緑全般に対する関心がいずれも高く、大きな違いは見られない。
- ・④市内全域の緑全般に対して、関心があるという回答割合は若干低い、69%と関心は高い。市の方針を示し、積極的な協力と参加を求めることが有効である。

【問7】あなたが関心のある緑を守るために、どのような取り組みを進めるとよいと思いますか。

(3つまで○)

[市民]



【市民】

- ・②公園や街路樹の緑の保全に対する意見が最も多く、緑の施策として、最も重点的に対応していくことが求められる。
- ・次いで、⑤里山・山林など森林風景、③農地など田園景観の緑の保全を求めており、緑地としての土地利用保全について、関係部局との調整による対応が求められる。

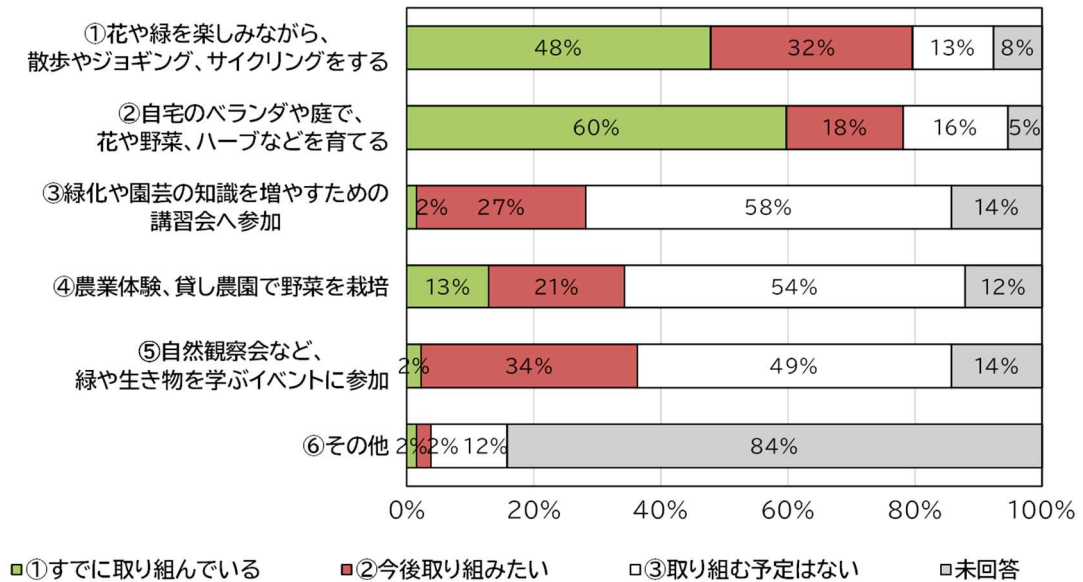
【問7】その他 の内訳（抜粋）

市民による花や樹木の栽培や公園清掃
ゴミやタバコのポイ捨てをやめる。
種や苗を配る。
未来を担ってくれる子どもたちに地球のため、緑を守り育てていくことの大切さを授業でもっと教えてほしい。
耕作放棄している畑や放置林を、持ち主に代わり保全するシステム作り。
植林活動の促進
植樹祭で植える樹木の保全
放置された荒れた竹材の手入れ→竹炭や竹細工に加工

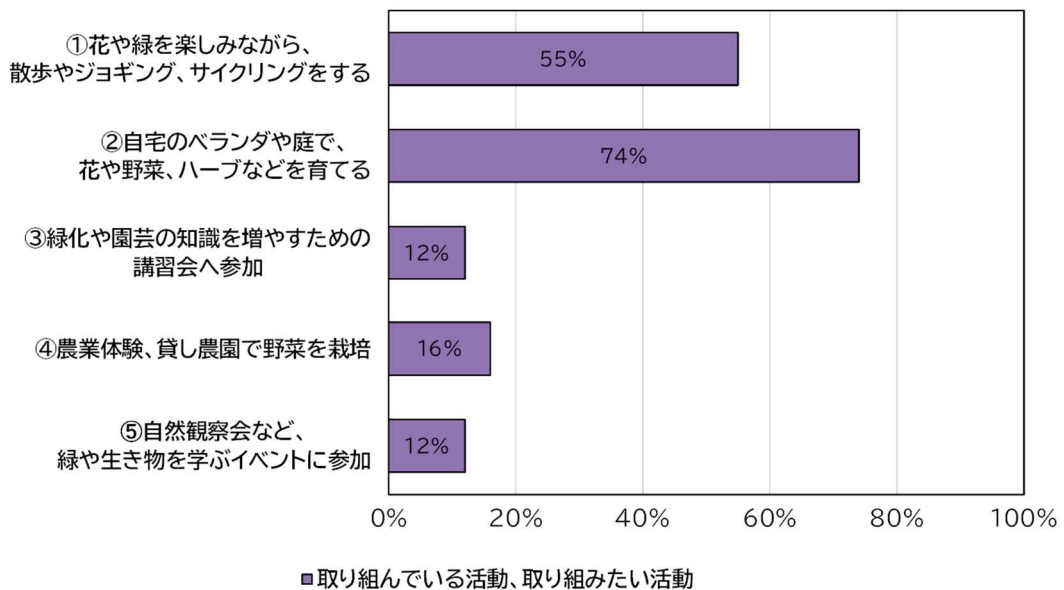
【問8】緑を使った趣味や健康づくりなど、あなたが取り組んでいる活動、または、今後取り組みたい活動はどれですか。

(あてはまるものに各1つずつ○をつけてください。)

[市民]



[市民まつり]



【市民】【市民まつり】

・既に取り組んでいるのは、①散歩やジョギング、サイクリング、②自宅のベランダや庭で植物を育てる という活動であり、さらに活動を促す取り組みが有効である。  
 ・現在は取り組んでないが、潜在的なニーズが比較的高い、⑤イベント、④農業体験、③講習会 について、ターゲットを明確に設定した上で、効果的なプログラムの検討が求められる。

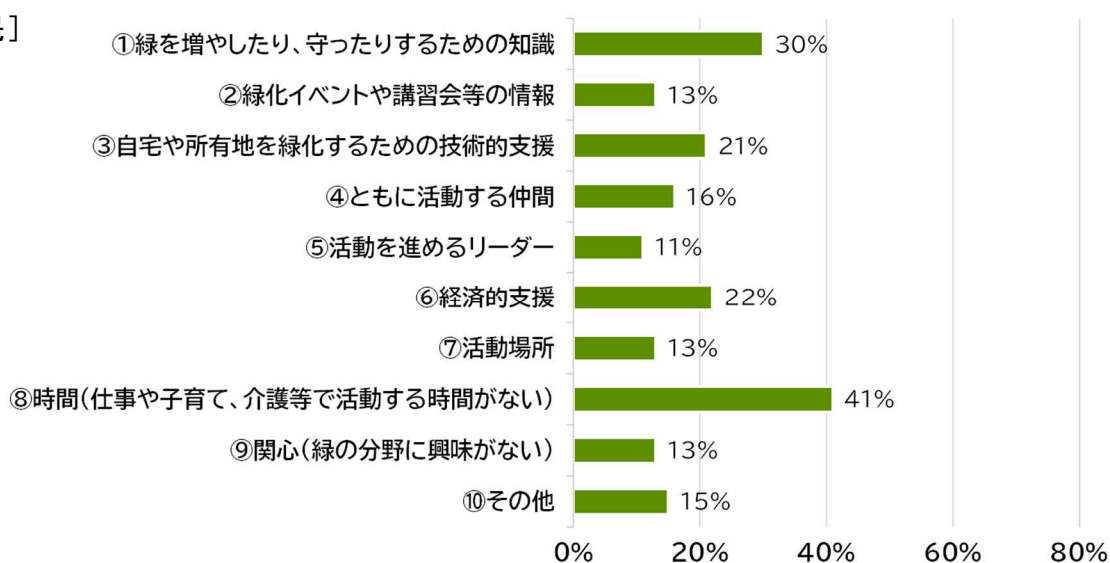
【問8】その他 の内訳（抜粋）

近所のゴミ拾いなど。
地域の花壇整備のサークルに入っている
子供と里山や緑地で虫取り。
キャンプ
隣の公園のボランティア
フラワーコーディネート
清掃活動（山や河原）
放置された竹林の手入れ、美しい竹林の再生、間伐材の活用、雑木材の風情ある植栽、家庭の生ごみをコンポストで堆肥にして緑化に活用
野鳥観察
自宅においてデザインされた緑化
道路際の植木の剪定と草引き、清掃
動画配信サイトで園芸の知識を深めている。
会社の空き地を緑化し、季節毎に花の植え替え
ハイキング

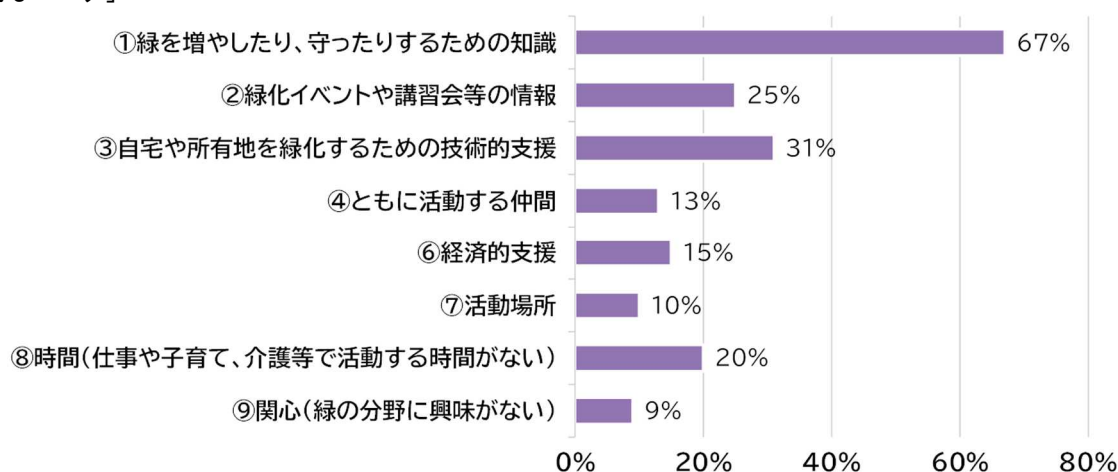
【問9】 緑をもっと楽しむために、必要なものは何ですか。問8で「取り組む予定はない」と回答された方については、何が支障となっていますか。

(あてはまるものすべてに○)

【市民】



【市民まつり】



【市民】

- ・活動に支障となる最大の要因は、⑧時間の不足 だが、次いで①知識、⑥経済的支援、③技術的支援の順となっている。
- ・対処可能な①⑥③に対して、行政の負担を抑えつつ、持続的で効果の高い施策の検討が求められる。

【市民まつり】

- ・活動に支障となるのは、①知識 が最も多い。既に緑を大切にしている層に対する施策は、①知識、③技術的支援、②イベント・講習の情報 が有効と思われる。

【問9】その他 の内訳（抜粋）

必要なもの

意識改革
自分の住んでいるまちを大切にすること
市を中心とした緑の保護とその後の手入れを管理
市の緑の方向性
開発時の規制
①水辺の散歩道のルート沿いにトイレや案内、休憩施設などがもっとあれば良い。②スタンプなど集めて市のオリジナル景品などがもらえたら相当おもしろい。
アスレチックのある大きな公園。ボール遊びができる公園
緑を楽しむことで得られる効果を知ること

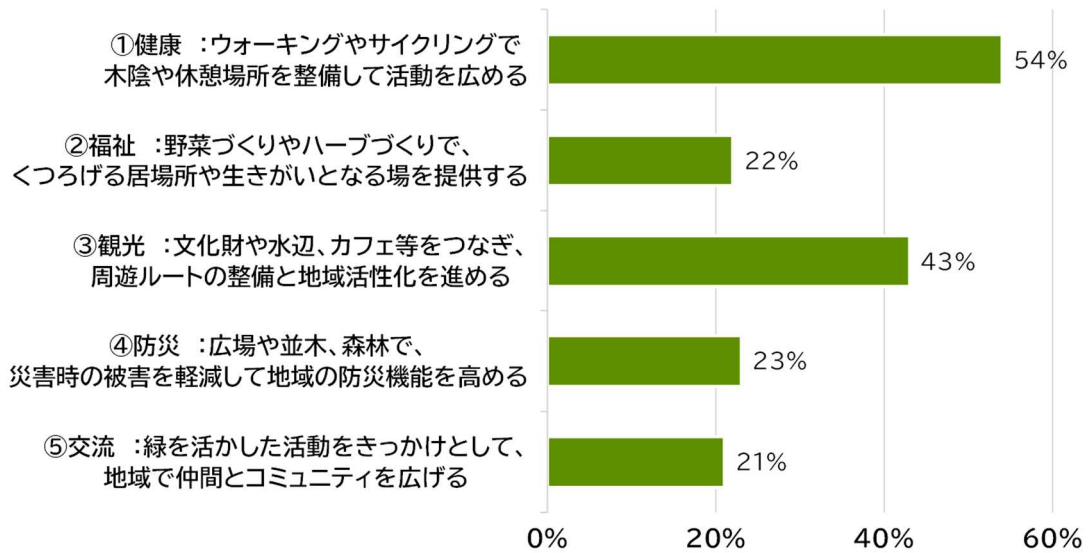
支障となっているもの

体力
高齢化

【問10】 緑をもっと楽しむために、本市の施策にあるどの分野と連携していくことが有効だと思いますか。

(2つまで○)

[市民]



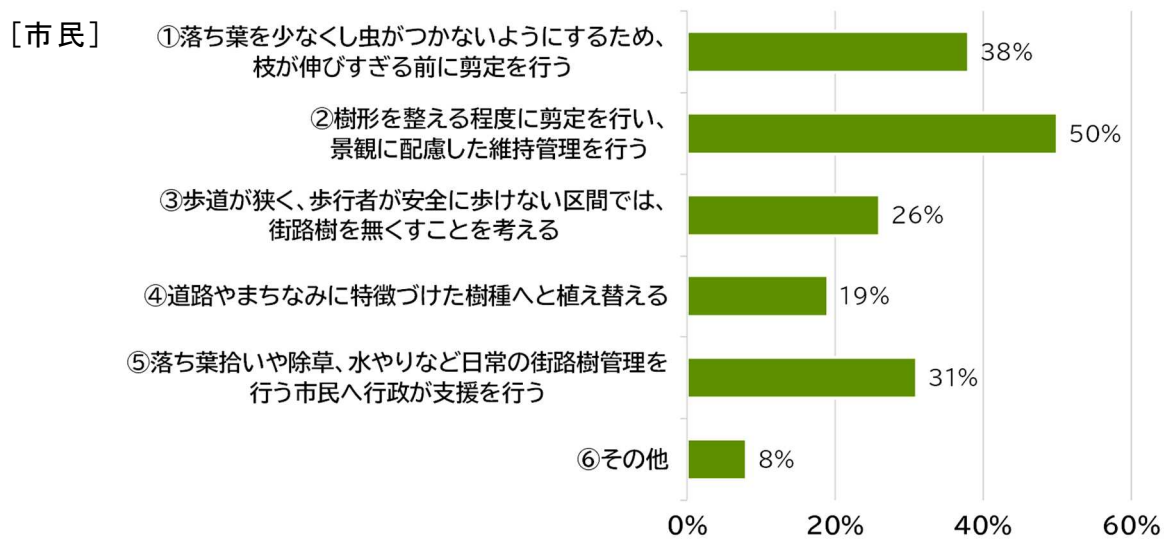
【市民】

- ・緑が連携を深めるべき分野への回答は、①健康 が最も多く、③観光 が続く。
- ・緑の保全自体に限定せず、緑を活用して進める取り組みとして、市民の①「健康」づくり、来訪者に対する②「観光」の魅力向上を重視して、京田辺市のまちづくりに貢献していくことが求められている。



【問 1 1】 普段目にされる街路樹についてお聞きします。街路樹の手入れについて、何を大事にするべきだと思いますか。

(2つまで○)



【市民】

- ・街路樹の手入れについて、②景観に配慮した維持管理 が最も多いが、①枝が伸びすぎる前の剪定 が続いている。
- ・④市民に対する行政の支援、②狭い歩道の街路樹をなくす に対しても一定の回答が得られている。従前の施策の範囲に限定せず、問題点の本質的な解決に向けて、柔軟な視点から緑化施策を検討していく必要がある。

【問 1 1】 その他 の内訳 (抜粋)

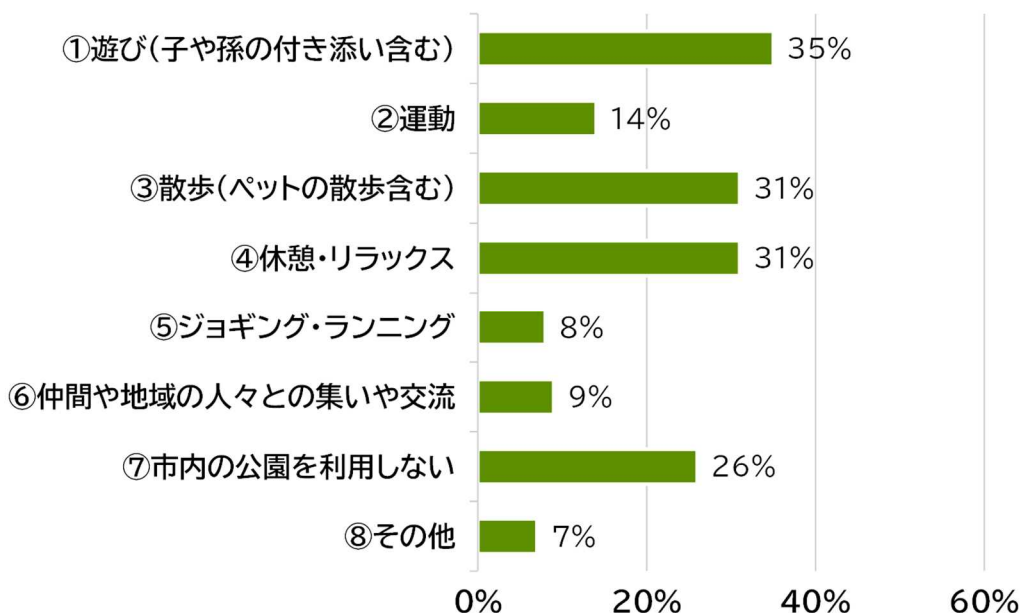
信号、標識を隠さないように剪定することが大切。
鳥のフン害とにならない対策
街路樹の根が大きくなりすぎて、歩道が膨らんでいるところが危ないので、根が張り過ぎないような樹木があればよいと思います。
植樹した樹木以外のものをきちんと刈り取る。
安全にも配慮した樹種へと植え替える。
強剪定は樹木の虐待。街景観のため、ある程度まで自然にするべき。
街路樹は成長した時の樹高を考えて樹種を選ぶ。
地形や街の形態に応じた臨機応変の措置。
維持管理に手間や費用がかからない形を考える。
低木にして置き換える。
落ち葉や虫、鳥は自然で良い。
植替えは必要ないが、もっと増やして、よく自動車マップに載っている街のシンボルになるような街路樹通りを目指してはどうか
樹種の名称を表示する。(親和性を高める。)
緑サポーターを募り、グループ活動として活動していき、活動を広めていってもらえる人を増やし、その活動を支援し、拡げていく。
雑草や街路樹の手入れを常に行うことが、住民の喜ぶ緑の保全になるのではないかと。常に美しくすることの中にはゴミ拾いも含まれる。歩道には、驚くほどの数のタバコの吸い殻やゴミがある。自助共助公助で、常に街路樹や歩道が美しい街にしていきたい。
防賀川、手原川、天津神川等の利用をもっと考える。街路樹の手入れと川の有効活用をして住民参加を促す。

### 3. 公園

【問12】あなたは、公園をどのように利用していますか。

(いくつでも○)

[市民]



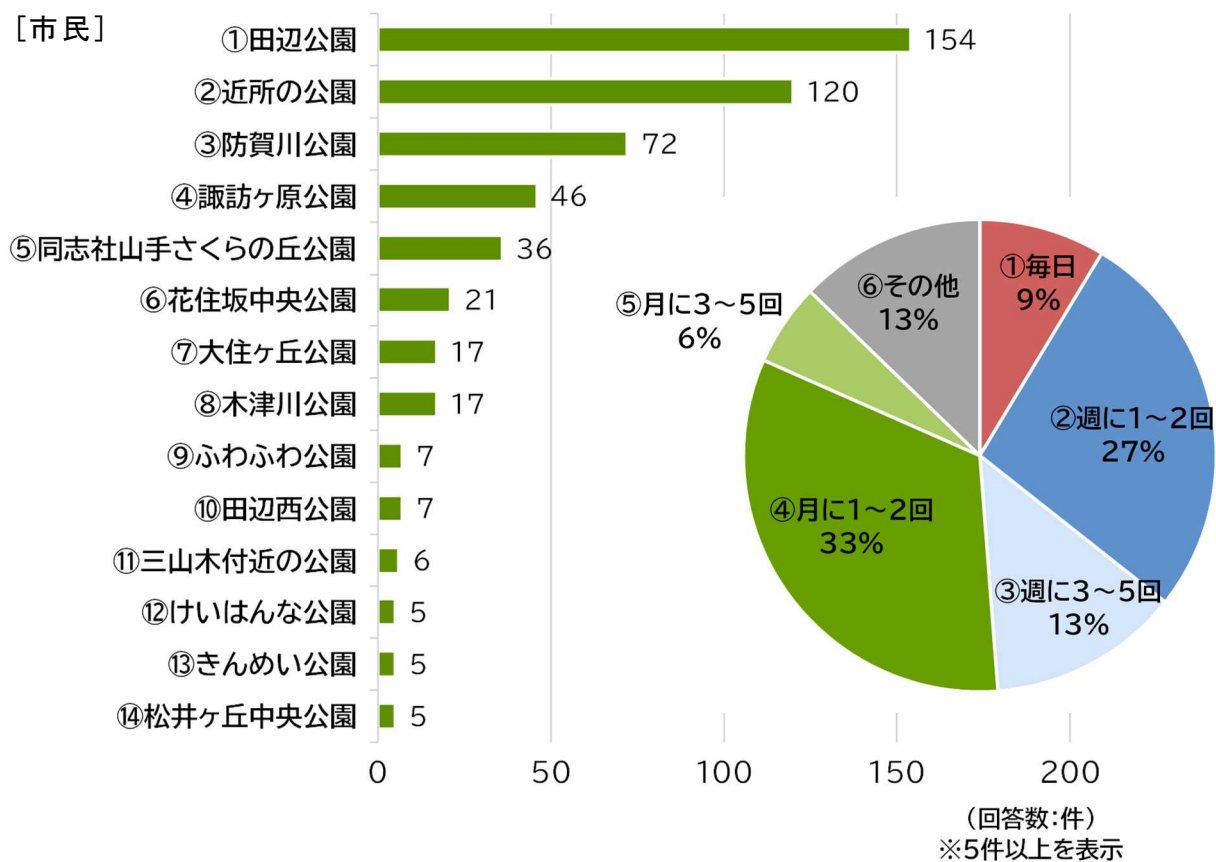
【市民】

- ・公園の利用は、①遊び、③散歩、④休憩、リラックス の順に多い。
- ・①遊び だけが突出して多い訳ではない状況も推察される。公園の種別や立地も考慮しつつ、複数の利用目的に対応できる公園整備やリニューアルのあり方を検討していくことが求められる。
- ・26%と一定割合が、⑦公園を利用しないと回答した。A.生活様式として公園は必要ない層と、B.施策によっては公園を利用する可能性のある潜在的な層が混在していると想定され、B.に対する施策のあり方について、引き続いて調査・検討が求められる。

【問12】その他 の内訳 (抜粋)

緑を見る。
通過するだけでも樹や花を眺め癒してもらっています。
春の桜の鑑賞
草刈
ラジオ体操
高齢のため利用していない。
小さな公園は落ち着く場所がありません。
座る椅子があればいい。
近くに公園が無い。

【問13】あなたがよく利用する公園があれば、公園名とその利用頻度を具体的に教えてください。



【市民】

- ・利用している公園は、①田辺公園 が最も多い。次いで②近所の公園、③防賀川公園、④諏訪ヶ原公園、⑤同志社山手さくら公園 と続いている。
- ・これらの公園に対する利用実態や来訪者層の調査分析を深めるなど、利用が多く市民の認知度が高い公園をヒントとして、京田辺市のより良い公園のあり方を検討していくことが求められる。
- ・利用頻度の回答は、回答数 553 件/1099 件の自由記入を集約・整理した。
- ・回答者数は、④月に1~2回、②週に1~2回 が多く、①毎日も9%である。
- ・現在、公園利用をしている市民層にとって、公園は必要不可欠な生活インフラとなっている。

【問14】よく利用している公園を選んでいる理由、さらに改善して欲しい内容があれば、教えてください。

[市民]

①選んでいる理由

意見内容	合計
近い	276
広い	65
行きやすい	19
駐車場	8
利用しやすい	8
人が少ない	5
安全	5
散歩	62
遊具	33
子供	29
運動	27
休憩	19
トイレ	8
交流	7
犬	6
ペット	3
子供や孫	2
充実	2
孫	1
遊び場	1
多様化	1
多目的	1
自然	42
景観	20
維持管理	15
静か	5
綺麗	2
新しい	1
その他	13

②改善して欲しい場所・内容

意見内容	合計
雑草	50
ゴミ	13
落ち葉	7
フン	7
虫	7
交通	4
タバコ	4
維持管理	2
水たまり	2
防犯	1
安全性	1
樹木	32
芝生	7
花	3
ボール遊び	17
犬	6
ペット	3
遊具	42
トイレ	21
ベンチ	21
駐車場	20
日除け	14
舗装	10
多様化	7
看板	5
カフェ	5
街灯	6
手洗い場	4
駐輪場	3
広さ	2
フェンス	2
交流	1
キャンプ場	1
自動販売機	1
その他	20

【市民】

■選んでいる理由

- ・「立地」(近い、広い、行きやすい)、「用途」(散歩、遊具、子ども、運動、休憩)、「自然」、「その他」(景観、維持管理)が10件以上となった。
- ・中でも、「近い」、「広い」、「散歩」、「自然」が、利用する公園を選ぶ際に、特に重視している要素となっている。

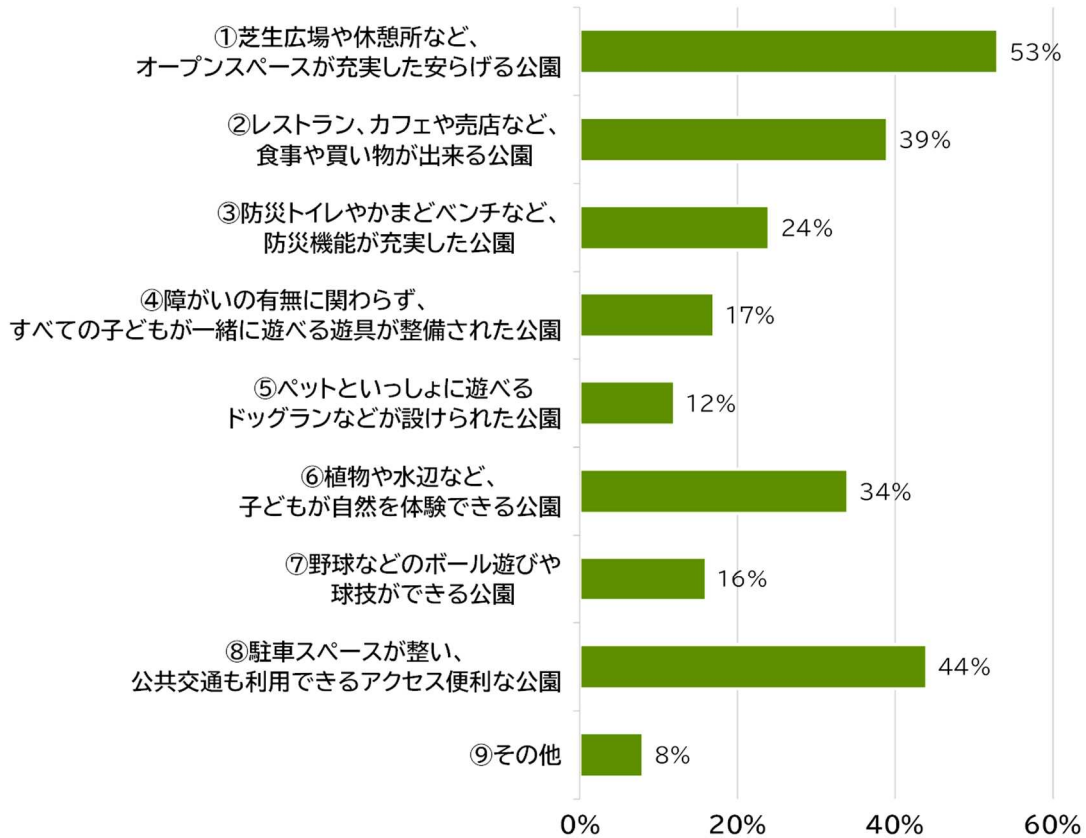
■改善して欲しい場所・内容

- ・「施設管理」(雑草、ゴミ)、「植物管理」(樹木)、「利用」(ボール遊び)、「施設」(遊具、トイレ、ベンチ、駐車場、日除け、舗装)が10件以上となった。
- ・中でも、「雑草」、「樹木」、「遊具」に対する改善要望が特に多く、改善の取り組みを重点的に進めることが求められる。

【問15】今後、市が大きな公園を作るとき、どんな施設があるとその公園に行きたくなりますか。

(3つまで○)

〔市民〕



【市民】

- ・大きな公園に欲しい施設は、①芝生広場や休憩所、⑧駐車スペース、②レストラン、カフェや売店 の順に回答が多い。田辺公園の拡張整備においても検討要素に加えることで、可能な範囲で市民ニーズに応えることが望ましい。
- ・次いで、⑥植物や水辺 の回答が多かった。規模の大きな公園では、単独機能に集約し切れない、公園としての複合的な豊かさも、意図的に実現していくことが有効と思われる。

【問 15】その他 の内訳（抜粋）

夏に涼しい木陰。
散歩ができ、木々や花々を感じられリラックスできる公園
特徴を出した公園を個別に設置。個性があるもの。
子どもがのびのび遊べる広い公園
大人(老人)が体力を増進できるようなところ。
駐車場があってバーベキューが出来る公園。
なるべく手つかずの自然が残っているところ
キャンプができる公園
野外ステージがあり、フリーマーケットなどの催しができる公園。
古墳や展覧会を楽しめる公園
トイレが綺麗な公園
広い多目的トイレ、ユニバーサルシートが設置してあるトイレ。
駐車スペースが整い、子どもも車いす利用者も使用できる公園で、雨の際に屋根のある休憩所がある。トイレ、自販機(飲み物)が設置されている公園。
池や人工の川に水生植物やメダカなど水辺の生き物が楽しめるような公園。ベンチやあずま屋があり、軽食が楽しめる店がある公園。フリマなどが開催される公園。
高齢者が日向ぼっこできるよう、バリアーの少ない公園
新たな公園は不要



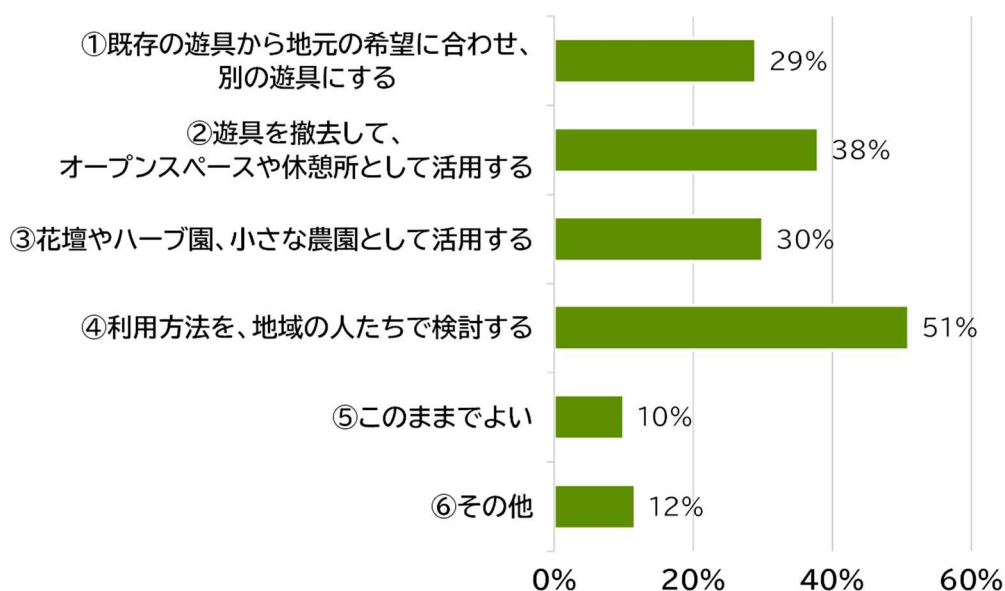
【問16】小さな公園の中には、地域の子どもが減ったことなどにより、あまり利用されていないものがあります。

そのような公園を、市民のみなさんに気持ちよく使っていただくには、地域のニーズに合わせることや、公園ごとの特徴や魅力を持たせることが必要と考えられます。

そのために、当てはまるものはどれでしょうか。

(3つまで○)

[市民]



【市民】

- ・あまり利用されていない公園のあり方について、④地域の人たちで検討する とする回答が最も多い。当初段階から検討プロセスを含めて、地域住民の間でコミュニケーションを深めていくことを重視していると考えられる。
- ・将来の具体的な姿は、②広場化 がやや多いが、①遊具の更新、③花壇等とそれほど大きな差は見られない。
- ・⑤このままで良い とする回答は10%だけであり、地域課題として解決に向かう積極的な取り組みが求められる。

【問16】その他 の内訳 (抜粋)

防災時に機能する公園
ボール遊びと犬の散歩の許可。
ボール・縄跳びなど使いやすい条件にする。(遊具のある小さな子の使う公園と区別する。)小さな公園スペースはシルバーの方が使いやすいものにする。
ペットの持ち込み、ボール遊びなどルールを守らない住民の対策
鳥が集まる町中の小さな林。遊具を撤去の上。
就学前の子供が遊べる遊具(背の低いすべり台等)
屋根付きベンチを置き、休めるスペースを作る。
企業などと提携して、市の財源を生むような取り組みをする。
除草して見通し良くし、
整備されていない放置された公園があるので、しっかり活用できるよう整備してほしい。
閉鎖的で人の目の届かない雰囲気でない場所にする。
市民の健康を推進するならば、健康器具などを設置してみる。
花の展示会場とする。

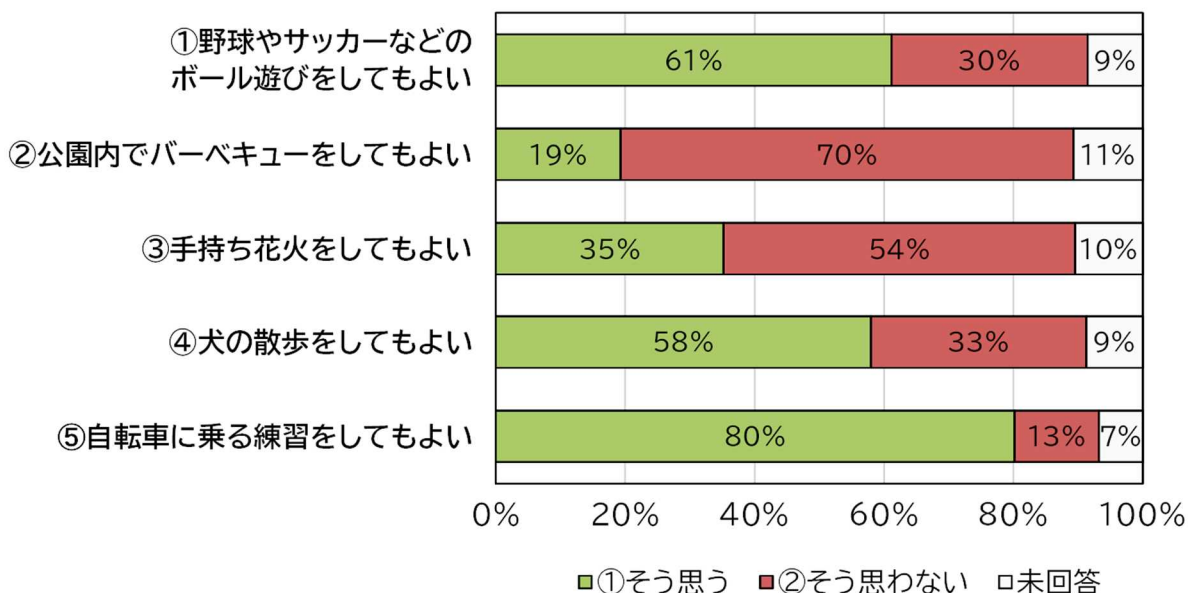
【問17】市内の全ての公園では、事前に許可をした場合を除き、危険なボール遊び、火気・花火の使用や犬の散歩をしないようになどお願いをしています。

5,000㎡以上下表の公園が、もっと利用しやすくなるように、ルールを定めた上で行って良いと思うものはどれですか。

(あてはまる方に○)

5,000㎡以上の対象公園	
諏訪ヶ原公園	防賀川公園
同志社山手さくらの丘公園	大住ヶ丘公園
花住坂中央公園	鶴沢公園

[市民]



【市民】

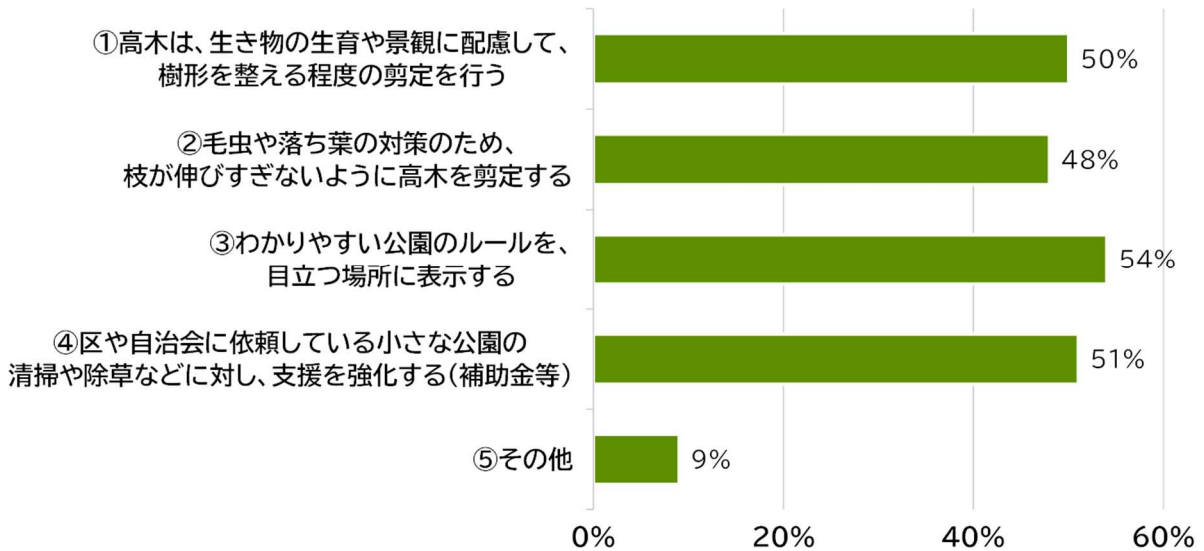
- ・⑤自転車の練習、①ボール遊び については、比較的多くの回答者が認めても良いと考えている。
- ・④犬の散歩 を認めて良いとする回答が、58%となった。
- ・②バーベキュー、③手持ち花火 については、認めない意向が強い。
- ・地域で使われてない公園のあり方と同様に、公園利用のルールも地域で検討し、より多くの住民にとって使いやすい公園としていく取り組みが求められる。



【問18】市内の全ての公園で、みんなが気持ちよく公園を使えるようにするために、何が重要だと思いますか。

(いくつでも○)

[市民]



【市民】

- ・①樹形を整える高木剪定、②枝が伸びすぎない高木剪定 の回答割合はそれぞれ半数と拮抗した。公園内の高木剪定のあり方について、引き続き市民とコミュニケーションを深めていくこと、地域単位で検討を進めていくことが必要と思われる。
- ・③公園ルールの明示、④自治会支援(補助金等)の強化について、いずれも過半数からの賛同が得られた。市民からも同様に、概ね賛同が得られる可能性がある。

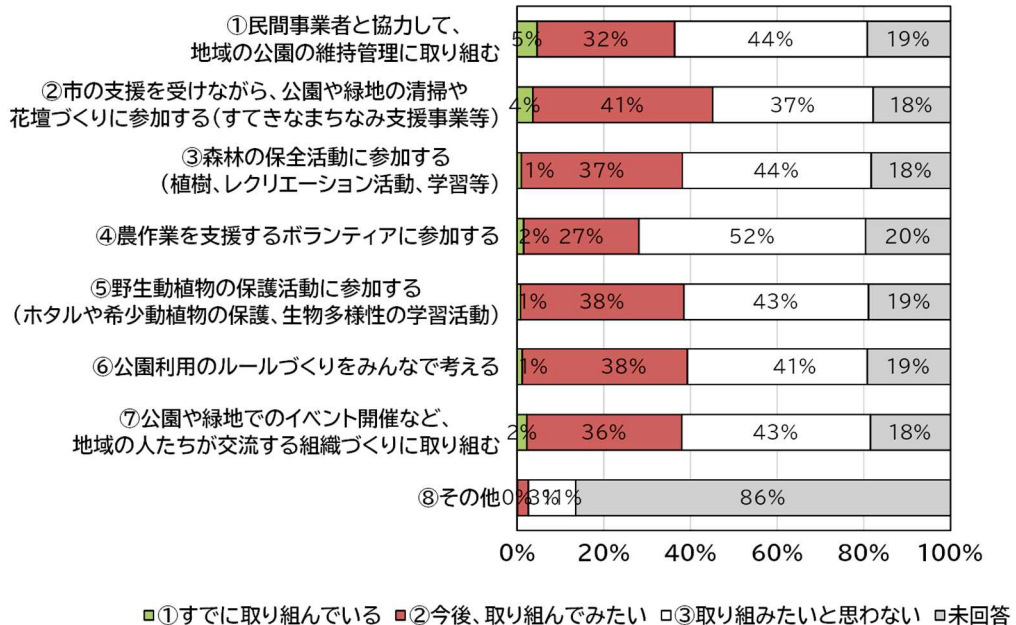
【問18】その他 の内訳 (抜粋)

禁止項目の削減
小さな公園もデザインして、シンプルで素敵な場所にしてほしい。
犬の散歩が認められた場合、ノーリードにしないことや糞の始末など細かいルールを記載して欲しい。
公園のルールをいずれ大人となる子どもたちにしっかり知ってもらう。授業などで。
騒音をなくしてほしい。ボール遊びを禁止してほしい。
管理している区や自治会の名前の表示をした方がよい
より良い運営活用を考えている区や自治会にもっと支援を。
清掃を子供に啓発する。
地域の交流拠点としての場が必要。趣味などで利用する人にそうじもしてもらう。
誰も使っていないような魅力のない公園を作りかえる。
市が取り組んでくれている、公園に対する事業や支援などを市民に分かりやすく知らせる。
公園はみんなのものという精神を、みんなで共有することが大切。
安全性を考え、周りから中が見渡せる樹木の高さや間隔の整備が必要だと思う。
公園の規模によってルールを変える。安全な公園、ボール遊びの出来る公園、BBQ の出来る公園などいろいろ目的で使い分けられるのがいいと思う。
運動する人、散歩する人、自然を楽しむ人などそれぞれスペースを分けてほしい

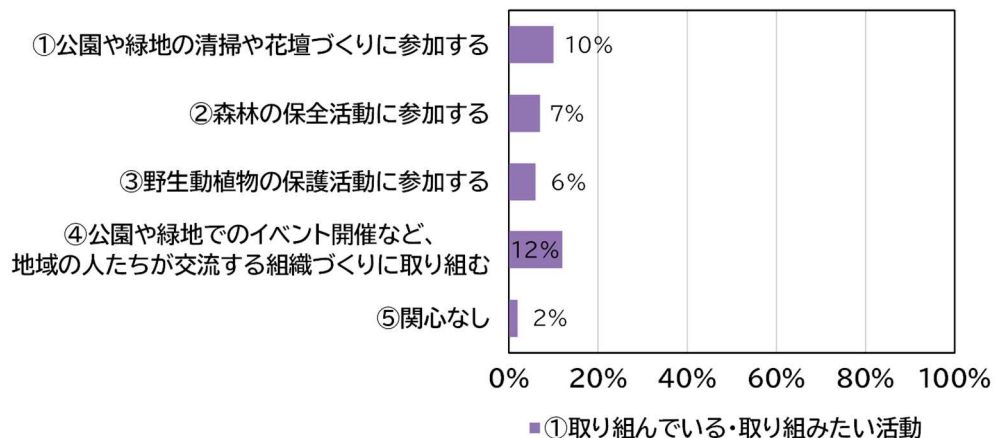
## 4. 市民と行政、事業者との協働

【問19】身のまわりの緑や公園を活用し、京田辺市を住みやすいまちにするために、あなたが取り組みたいと思う活動はありますか。  
(あてはまるものに、1つずつ○)

[市民]



[市民まつり]



【市民】

- ・いずれの項目も、既に取り組んでいる活動は少なく、今後の取り組み意向が 30～40%程度と、同様の傾向である。
- ・それらの中では、②公園の清掃・花壇づくりへの意向が若干、高く、④農作業のボランティアへの意向が若干、低い傾向にある。

【市民まつり】

- ・全般に賛同の割合は少ない。これら項目の中では、④交流の組織づくり、①公園の清掃・花壇づくりへの意向が若干、高い傾向にある。

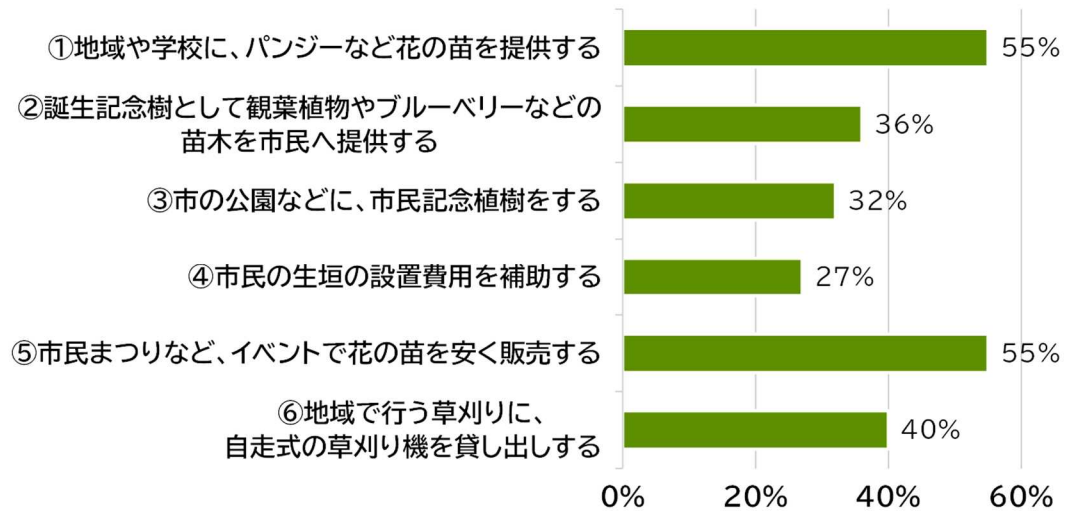
【問 19】その他 の内訳（抜粋）

公園を利用したイベント
老若男女が憩い集いたくなるような公園づくり
地域の公園として、地域のイベント等を数多く利用
他の地域で同じ志をもった方々との情報交換
防賀川の水草がここ数年で伸びすぎているので綺麗にしたい
市の取り組みにもっと興味を持って、自分も勉強や協力をしていきたい
自然の対応は短期的な活動はだめで、長期的な活動が必要
高齢で参加できない。
時間の余裕がない

【問20】現在実施している本市の緑化推進・支援事業について、効果的だと思いますか。

(いくつでも○)

[市民]



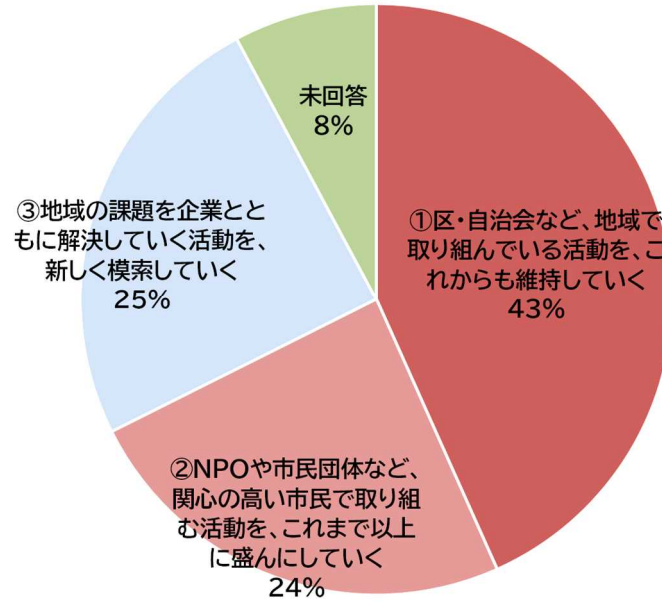
【市民】

- ・①地域や学校への花苗提供、⑤イベントで安価な花の苗販売 が過半数の回答を得て、最も効果が高いと感じている。
- ・次いで ⑥地域への草刈り機貸し出し が上がっている。周知を含めて、事業のさらなる拡張が有効な可能性もある。
- ・②誕生記念樹の拡張、③公園などへの記念植樹、④生垣設置補助 についても、それぞれ3割前後が効果的と回答している。

【問 2 1】市内の緑を守り続けていくために、行政はどのような活動との「協働」を深めていく必要があると思いますか。

(1つに○)

〔市民〕



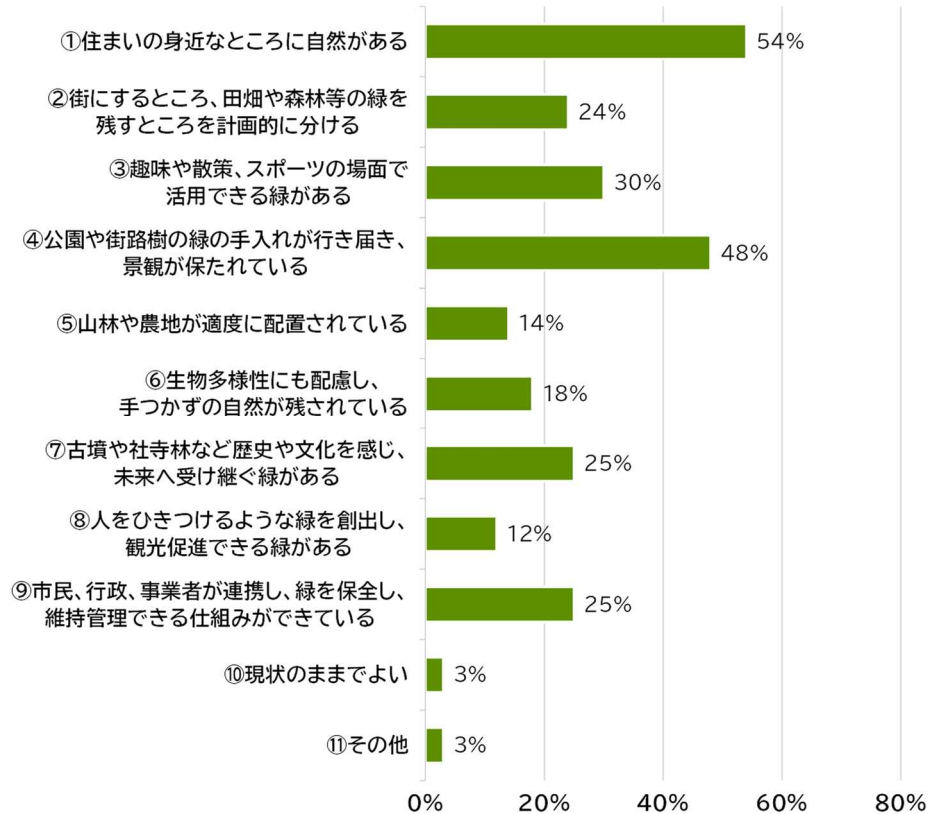
【市民】

- ・①地域で取り組む活動の維持 が 43%と最も多い。協働の中心には、地域の活動をこれまで通りに維持していくことが最優先と考えている。
- ・③企業との連携、②NPOとの連携 への回答も、それぞれ25%、24%と一定数から得られた。現在、住民層の少子高齢化が進む状況であり、今後の方向として新たな協働の模索は避けられず、検討と試行を先行していくことが求められる。

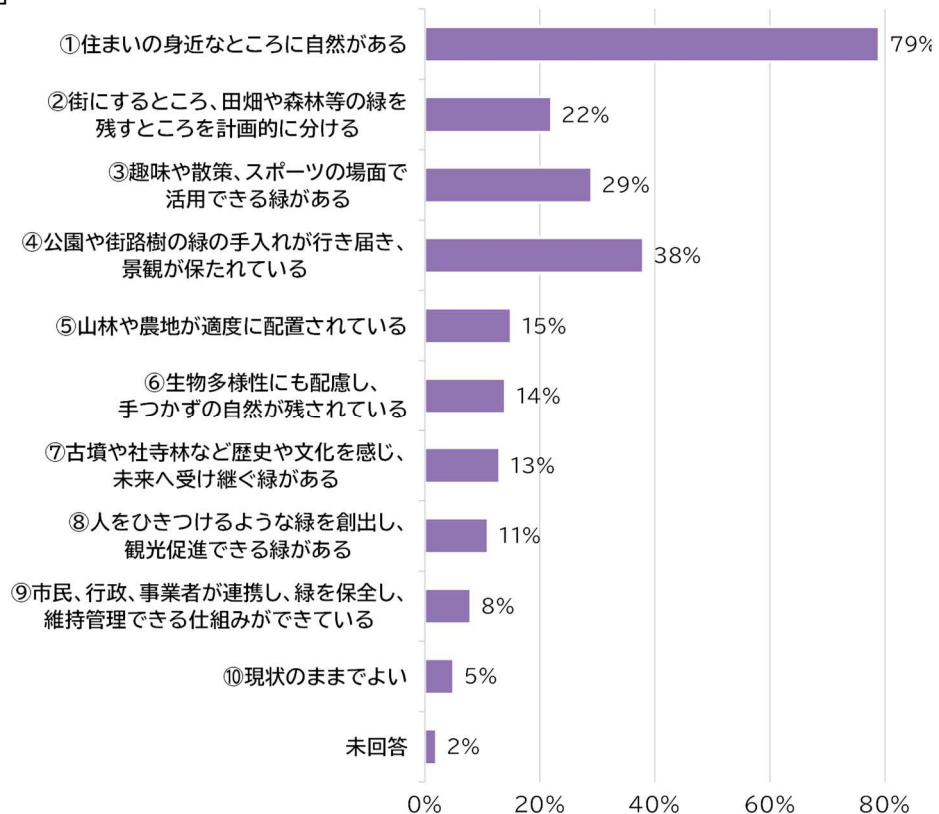
## 5. 緑の将来像及び自由記入

【問22】京田辺市の10年後の緑の姿について、共感できるものは何ですか。  
(3つまで○)

[市民]



[市民まつり]



【市民】

- ・将来の姿として、①身近に自然がある、②公園や街路樹の維持管理が行き届いている 姿を、他の選択肢よりも強く求めている。
- ・次いで、③緑の利活用、②田畑や森林の保全 についても、将来の姿として求めている。
- ・緑の基本計画の将来像検討においては、これらの回答を考慮する必要がある。

【市民まつり】

- ・市民向けの回答と比較して、①身近に自然がある をより重視し、⑦歴史・文化、⑨協働での緑の管理 をより重視しない傾向がある。
- ・差異の要因は、緑に対する関心がより高い回答者層という属性の違いに起因すると思われる。

【問 2 2】 その他 の内訳（抜粋）

植樹祭での樹木を大切にしてください。
水辺の散策路の拡充
荒れ地の有効活用
あまり緑や田んぼを壊さないでほしい
行政の方向性が見えない
都市計画の手法「グリーンベルト計画」

【問23】本市の緑や公園の魅力を高めていくアイデアやご意見など、自由に記入ください。

- ・自由記入欄の文章を、公開されているAIソフト※で変換した模式図を参考に添付します。
- ・名詞、動詞、形容詞、感動詞で色を区分して、より多く記載されている言葉ほど大きく表示されます。

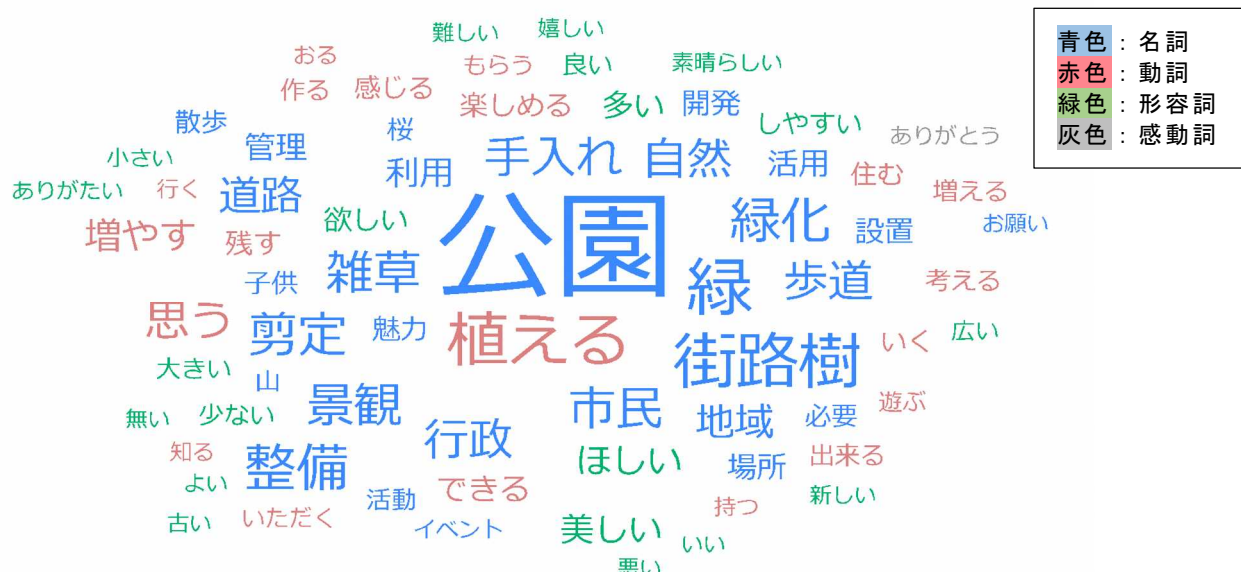
※ ユーザーローカル テキストマイニングツール

( <https://textmining.userlocal.jp/> ) による分析

ただし、京田辺、京田辺市の文字は除いた分析結果を示します。

## □ 自由記入欄の全回答を変換した模式図

※自由記入欄への記入率 33.3% [回答者数 366 件/回収数 1,099 件]



### 【共通】

・多い名詞として、以下のようなものがある。

「京田辺市」「公園」「街路樹」「剪定」「雑草」「整備」「景観」などがある。



※自由記入欄の意見（抜粋）

1) 公園、2) 街路樹、樹木、3) 開発、景観、4) 緑化推進、5) 歴史、観光、6) 協働に分類した。

1)公園
市民の協力は必須。若い人の集まる公園になって、京田辺市に住み続けたいと思って欲しい。お年寄りにもできる作業で市の支援で健康に長生きしてもらおう。
野球やサッカーができるようにして、子供たちが使った後に整備する様になれば、自治体だけに掛かる負担が減るのではないのでしょうか。
思い出ベンチ、有料での記念植樹等、公金をかけずに整備できる方法を取り入れるべき。スターボックス等のカフェや映えスポットの創設等、公園に関心を持ってもらうべきである。有料公園施設の広報や誰もが利用できることの周知をしてほしい。
子育て世代が利用しやすく、人の出入りの多い公園作りを目指し、まちの治安維持に役立つ施設として欲しい。 花火やBBQのできる公園はあってもよいと思うが、ゴミ等の不始末について徹底して取り締まれる制度を組み込んで欲しい。
大型遊具や子供達が裸足で遊べる川。どんぐりや松ぼっくりが拾える森。 他の町村からも遊びに行きたいと思う公園を1つ作って欲しいです。人が集まればキッチンカーが来たり、イベントが行われたり、と経済が動くと思います。
私たち高齢者には季節のいい春と秋に「ちょっとあの公園に行っちゃべろうか？」と気軽に行けて、雨をしのげる屋根のあるベンチやテーブルがあり、高齢者に優しい場所がほしい。
公園のアピールをしてほしい。どこに、どんな公園があるのか全然知らないの。家の近くの公園ぐらいしか知らない。公園の特徴や場所(地図)。公園に植えられている植物。
行政の役割はまず「利益が出なくてもすべきこと」をすること。つまりキラキラした施策だけではなく、地道な街の手入れや自治会や活動団体への補助金などであるし、住民の福祉と保護につながる施策である。
利用方法についてのアドバイスを広報する。管理についての基本方針を明確に、広報する。
公園の整備がされていて綺麗に維持されていれば、利用者は増えると思う
全体的に休憩しやすいようにベンチを増やすべき。ボール遊びができない公園は少しさみしい。
自然に若者がふれることができるように、若者を引きつけるカフェやお花畑をすることで、自然や緑に関心を向けるきっかけになるだけでなく、公園の魅力も高まると思う。 まわりの住宅は新しくなるのに公園が昔のままで古さを感じます。シンプルでいいので、ホッと空間を作って欲しいです。保全ではなく、新しい地域づくりをしてほしいです。
一つの地域に(町内)いくつか公園があれば、ボール遊びができる、憩いの場となる、遊具がいくつかある、等目的に応じた公園にして、みんなが利用しやすい場にしてはどうでしょうか。
緑と公園、清掃等の関心を住民が持ち続けるようなコミュニケーションが欲しい。
昆虫採集のできる公園があれば行ってみたい。クワガタやカブトムシが増えるような木を植えて、子供が昆虫採集の体験が身近にできればよいと思う。
特徴のある公園を数カ所作ってほしい。ex.桜、もみじ、ぼたん、つつじなどで季節になると見に行く気持ちを起こさせる公園があれば良いと思う。
天気によって左右されない公園で過ごせること→屋根や風除けなど、駐車スペース バリアフリーの道路、公園→段差のない アウトドアスペース→日帰りキャンプ+お風呂など

<p>綺麗（手入れが出来ている）であることが大事だと思います。（整備（新しく）するだけではなく。）各々の場所において、適した魅力向上の在り方を検討する。市民、行政、事業者が連携し、各々の場所におけるポテンシャルを活かした、持続可能な魅力向上を検討する。</p>
<p>手つかずの自然のままもいいのですが、特に公園はきれいに整備されていてこそ、近隣住民の憩いの場となり得るのではないのでしょうか。そのためにも手の届くところは住民同士できれいにしていこうという自覚も必要だと思うし、川の中の雑草などは業者等にお願ひできたらと思う。</p>
<p>案内板（順路、設備の紹介など）の充実。 各公園に見合ったデザイン、素材、色調。また、利用する年齢などに適したベンチ、椅子の設置。</p>
<p>植物の名前を明記し、親しみを持てるようにする。</p>
<p>市内の公園マップを作成する。どこにどんな公園があるか知らない。どんな特徴があって、どんな樹木や花などがあるかも知りたい。もっと地元の人が地元を旅できるような楽しめる仕掛けを作って欲しい。</p>
<p>大きな公園へ行くのにアクセスを良くしてほしい。</p>
<p>人口が増えたとともに、公園や道路のゴミも増えている。「不法投棄禁止」や「ゴミ捨て禁止」の看板などを増やす。市民一人ひとりの意識を高めるため、まずは学校などで子供へ自分たちの町は自分たちで綺麗にしていく教育をしていく。</p>
<p>公園に子供用遊具以外に、大人用のストレッチや運動器具を置いてはどうでしょうか。</p>
<p>緑や公園に関する情報や、補助金を積極的に発信。緑と公園、その他市の史跡及び木津川を結ぶサイクリングロードやランニングロードを整備。</p>
<p>あまり使われていない、小さな公園は草が茂ったり物騒なので、綺麗に整備するか、他に利用するなど地域と連携して活用できたらいいと思います。</p>
<p>毎日多忙な生活をしていて、自宅の花壇を美しく作り続けるのは、なかなか難しいですが、公園や街路樹が多いと癒される。小さな公園に地元の子供会や老人会が楽しめる花壇などがあれば、日々の活力につながるのではと思います。</p>
<p>スズメバチが寄ってきにくい植物を植えてほしい。ハチの巣が作られにくい工夫は必要だと思います。安全に過ごせる公園が良いです。</p>
<p>地産地消の食材を使ったカフェがあれば、集客もできるし、地元の農産物への興味も高まると思う。</p>

<p><b>2) 街路樹、樹木</b></p>
<p>高齢なので、公園に行く機会も少なくなりましたが、街の中にある街路樹がいつもきれいに手入れされているのを見ると、心穏やかに毎日暮らしていけるので、それを楽しみにしています。</p>
<p>街路樹の剪定は景観に合わせ、あまりにも切り詰めると違和感を覚えます。街並みの風景を乱して欲しくありません。知識の豊富な植木職人（プロ）に任せたいかがでしょうか。</p>
<p>市民の声を取り入れたい時にLINEを活用したアンケートの実施（どんな樹木を植えたか、どんな遊具が良いか等）市民の声が反映されると感じられれば、市の緑についても関心を持つキッカケになると思う。</p>
<p>樹木等緑の管理は素晴らしいことですが、もう一歩進んで交通、通行に迷惑になっていないか管理もして欲しいです。</p>
<p>何の樹木・植物かの掲示をもっと増やしたりするのはどうでしょうか？その植物の豆知識などもあったら、植物への興味を引くのではと思います。</p>
<p>街路樹は常緑樹木に変更するべき。</p>

緑を増やすことよりも、通路際の雑木や草刈りをこまめに行って欲しい。
市で策定している散歩ルートについて、安全に歩行できるよう歩道の整備を実施してほしい。
植樹祭で植えた樹木を大切にすることと思います。
街路樹の落ち葉清掃(市民・地域・ボランティア団体)の際、収集などの市の支援があればやりやすい。年配者が多く、運ぶことが大変。

<b>3)開発、景観</b>
40年以上、京田辺に住んでいます。この間、京田辺はとても便利な町になりましたが、引き換えに住宅開発、工場誘致などで緑はずいぶん減ってしまいました。山が削られるたび、田んぼが埋め立てられるたびに淋しく感じていました。 天理山古墳の山が保全されたことは大変良かったと思います。山林、農地は後継者の問題もあり存続させるのは、なかなか困難ではありますが、積極的に貸し出して、やりたい人が農林業を出来るよう行政にはパイプ役を担ってほしいと思います。
京田辺市は自然が身近にあり、鳥のさえずりさえ聞こえるとてもいいまちです。自然が壊されず、文化的に生活できる環境だと思います。計画的に環境も保護しながらまちが発展していけばいいと思います。
次世代を担う子供達が、一度は外に出たとしても戻って来たいと思うまちづくりが必要と考えます。そのためには、緑豊かで健康な文化田園都市をさらにアピールし、適度な環境保全と都市計画に期待します。
京田辺市は緑に恵まれた街だと思います。良い所は維持されながら、発展して行ってほしいと思います。
便利になることと、自然を残すことは相反するものではないと思います。ある程度人工的に緑を活かして造園した上で健康寿命が増える、自然との調和が必要です。土を触っていると心が落ち着きます。適度な活動で落とし所が見出せたらと思います。定年後地域貢献活動も視野に入れて活動したいと思います。
京田辺市には手付かずの自然は存在しない。長年利用し活用することにより手を入れてきた自然です。それが放棄されたり手入れされなくなっただけです。しかし手を入れて維持されてきた自然は今貴重です。京田辺市を魅力あるものにするためには、従来の公園作りではなく、農林業、市民活動と共に一体となって進める放棄林、放棄畑の景観再生です。これがこれからの目指すべき新しい公園ではないでしょうか。
①住宅開発が進み、今までの自然、緑がなくなっている。住宅開発には緑、公園など計画的な開発を開発事業者と相談して欲しい。②かなり古い高木が増えている。自然災害防止の観点から、古い高木の伐採など考えて欲しい。③最近、住宅開発のため桜の木が伐採された。近隣住民との対話を重視して欲しい。
今まで偶然残っていた緑より、必要な緑を創作する。
京田辺市の景観が崩れることのないように、緑を残して自然を次の世代に残してほしいです。
緑化施策に取り組んでいて大変ありがたいですが、住宅地の中に空き家があり、草ぼうぼうです。草が大きくなり木になっているものもあります。今は枯れてます。持ち主に何とか草刈りをするよう指導していただきたいと思います。
<b>緑の創生と観光促進出来る緑</b>
農地が有る事により、温暖化が軽減されており、維持してほしい。
交通の便が良いが、田畑や緑の残る京田辺市を住みやすいと感じています。
荒れた雑木林や竹林も目立つので、可能な範囲で整備すれば景観も良くなる。子供たちを里山や竹林、雑木林で遊んで自然に触れ合うことが出来れば、心身の成長にプラスになると考える。
緑を残すことも大切ですが、手入れも大切。普賢寺川に沿った歩道は、草が生い茂り

道が塞がってしまっていることもあります。整備とのバランスも必要だと思います。
誰に聞いても京田辺といえば〇〇といったシンボルを作る。(景観の良い場所、自慢できる場所)
緑のある街、田園風景が好きです。広々とした空間が必要。
京田辺市の魅力は生活が便利(商業施設等が充実)で、かつ、自然にも触れられる地域であることだと考えます。今後もその両立を基本的考え方としたまちづくりをお願いします。
荒れた雑木林や竹林も目立つので、可能な範囲で整備すれば景観も良くなる。子供たちを里山や竹林、雑木林で遊んで自然に触れ合うことが出来れば、心身の成長にプラスになると考える。
すでに住宅地になっているところは仕方ないが緑と田んぼをこれ以上減らしてはいけなと強く思う。なぜなら、お米づくりは教育の根幹にも通じる体験型教育の教材になると考えるからである。特に自然栽培は現代の子育ての悩みを解決する多様な育ちの例として考察できる事例にたくさん出会うことが出来る。
オオタカを保護し、貴重な生物を守っててください。
里山森林等、緑の保全は必要と思うが無策では意味が無い。
今後、自然を残していこうとすれば開発等の初期に緑地の区分を多くとって残すように設定しなければ、おそらく自然豊かなまちづくりは難しいのではと思う。

<b>4) 緑化推進</b>
山城南部に昔からある植生を大切に、それを活かした勉強会や講習会をおこなって魅力を伝えてほしい。無理に外来植物を植えたり、その場しのぎの一貫性のない場当たり的な環境整備はやめてほしい。やはり、数十年後も見越した京田辺市が自然と付き合う方法を考えてほしい。
行動する人に何らかの支援を行い、継続的に活動しやすくする。
各家庭でも草花を育てられるよう市からの(花苗など購入)の補助があると各家庭一丸となって、街を美しく保とうとする意識が高まるのではないかと思います。(各家庭の住民周辺に緑があると街に一体感と美しさが生まれ、犯罪等の減少にもつながると思います。)
自宅の緑化を進め、樹木を増やしても、剪定等の管理が大変。維持管理ができず生垣撤去も多く見られる。今後住宅での生垣は減少するのではないか。
子どもを交えたイベントを多くすると思います。緑の良さを小さいうちに教えたら未来につながると思います。
幼少期に土や草に触れていないと、食物をどう育てていけばいいのか分からない。タネから育てる教育を学校の授業や放課後などで教えることによって、老人とのふれあいも出来る。(教えに来てもらう)
市内の植木業者と協力して家の庭で育てられる苗を安く販売する機会を作る。まずは市民が緑を大切にすることを育てる事が大事。
子供に色々な体験をさせたいと思っているので、農業体験や緑を活かした活動が子供がすることで、親達も興味を持つのではないかと思います。こんな活動やっているよ！というお知らせも SNS で知ることができると嬉しいです。

<b>5) 歴史、観光</b>
甘南備山、一休寺等の周辺含めて、緑の維持に努め、憩いの場、癒しの場となるように整備、保存してほしい。
京田辺市広報で、市内の魅力である所(場所)を随時発信して、市民に関心をもってもらえるのも良いと思います。



<p>市内の周遊ルートは非常に有益、且つもっと知名度を上げるべき。 その為に定期的に各周遊ルートを歩くイベントを行い、利用者を増やす試みを提案します。</p>
<p>天理山古墳群の史跡公園は古墳群の価値付けが前提になって整備を進められています。結果として古墳群が保全されることよいことだと思います。よくある古墳群(価値がないと言うわけではなく)ではなく、京田辺市の特徴ある文化財である一休寺の周辺環境を護る、という側面をもっと強く主張されていいのではないのでしょうか。</p>
<p>普賢寺の桜と菜の花のような、デザインされた緑化も綺麗だと思います。</p>
<p>例えば、桜や秋桜、ひまわり畑、菜の花、紅葉の華やかなものなどは、それだけで季節の見所として人が集まってきたり、近くの住民にはそれが自慢となるかもしれません。季節の魅力が味わえるエリア作りをしてもらえると、市民としても楽しみです。</p>

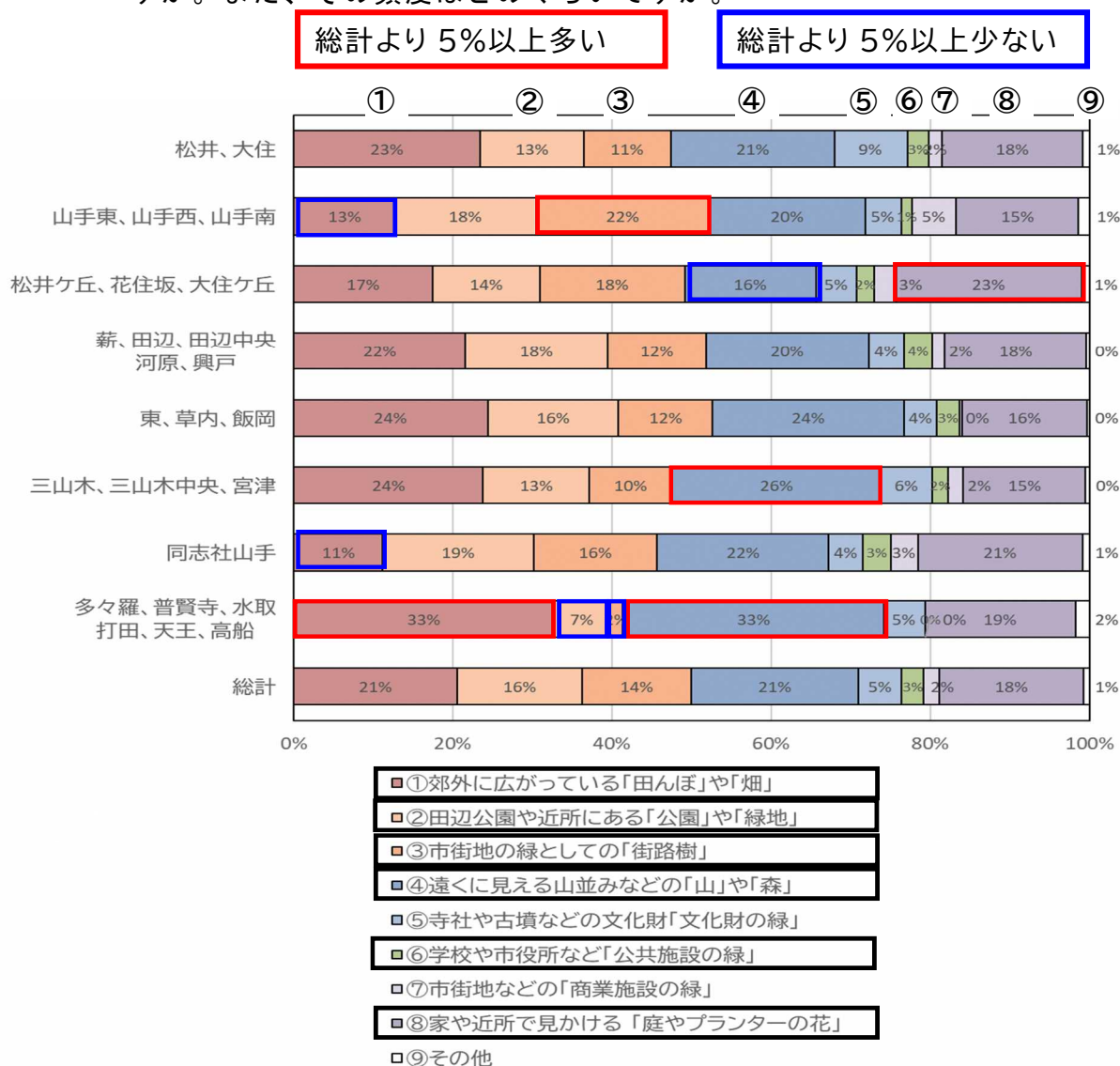
<p>6) 協働</p>
<p>大学(教員、学生)の知恵を借りる。</p>
<p>年に2回の自治会の掃除では、なかなか雑草が取り切れない。小学校や中学校のイベントとして、年に2回ほど雑草取りやゴミ拾いがあれば、意識が高まるかと思えます。</p>
<p>住民主体とは何かと難しいのではないかと。まずは大学や企業との連携から出てきたアイデアをベースにそこに意識ある住民を当てはめていくのがスムーズに進むのではないかと考えます。</p>
<p>自治会と京田辺市とが一緒にテーブルに就いて小規模な話し合いを継続的にもたれてはどうでしょうか。トイレや花壇など自治会にお金を出して管理を委託するシステム作りを。押しつけ感なく、負担にならないような。</p>
<p>近くの公園では利用者が少ない時間帯は防犯上好ましくないと思うことがある。見通しがいいように剪定は必要で、そういったボランティア活動があれば参加してみたい。</p>
<p>地域でゴミ拾いのイベントなど楽しく参加できる企画を多く開催する。</p>
<p>小さな公園は、手入れをしやすくそして遊ぶ・くつろぐことに使いやすい形にして、用途ごとに近くの公園で分けて活用できるように、企業や大学と連携して考えていけば、有効利用できる場所はたくさんあると思います。 住宅地の中にある身近な公園スペースが活用しにくいことがずっと気になっていました。小さい子供と小・中学生とシルバー世代の方それぞれが自分のやりたいことができる公園が近所があれば素敵な街になると思います。緑は手入れがしやすいことを第一に選んで取り込んでほしいです。</p>
<p>里山、竹林。田畑等の荒れたところを有志ボランティアによる整備を実施施工できるようにする。</p>
<p>地域の方のボランティア活動に依存しない仕組みを作っていくことが必要だと思います。</p>

## 6. 市民アンケート クロス集計

### 【問1】居住地とのクロス集計(1)

×

【問5】あなたが市内で、気軽にふれあったり、見て楽しんだりする緑はどれですか。また、その頻度はどのくらいですか。



### 【問1:居住地】×【問5:ふれあう・見て楽しむ緑】

区分	◎:5%以上多い	×:5%以上少ない
山手東、山手西、山手南	③「街路樹」	①「田んぼ」や「畑」
松井ヶ丘、花住坂、大住ヶ丘	③「街路樹」	①「田んぼ」や「畑」
三山木、三山木中央、宮津	④「山」や「森」	
同志社山手		①「田んぼ」や「畑」
多々羅、普賢寺、水取、打田、天王、高船	①「田んぼ」や「畑」 ④「山」や「森」	②「公園」や「緑地」 ②「街路樹」

・山手東、山手西、山手南／松井ヶ丘、花住坂、大住ヶ丘

③「街路樹」の割合は高く、①「田んぼ」や「畑」の割合は低い

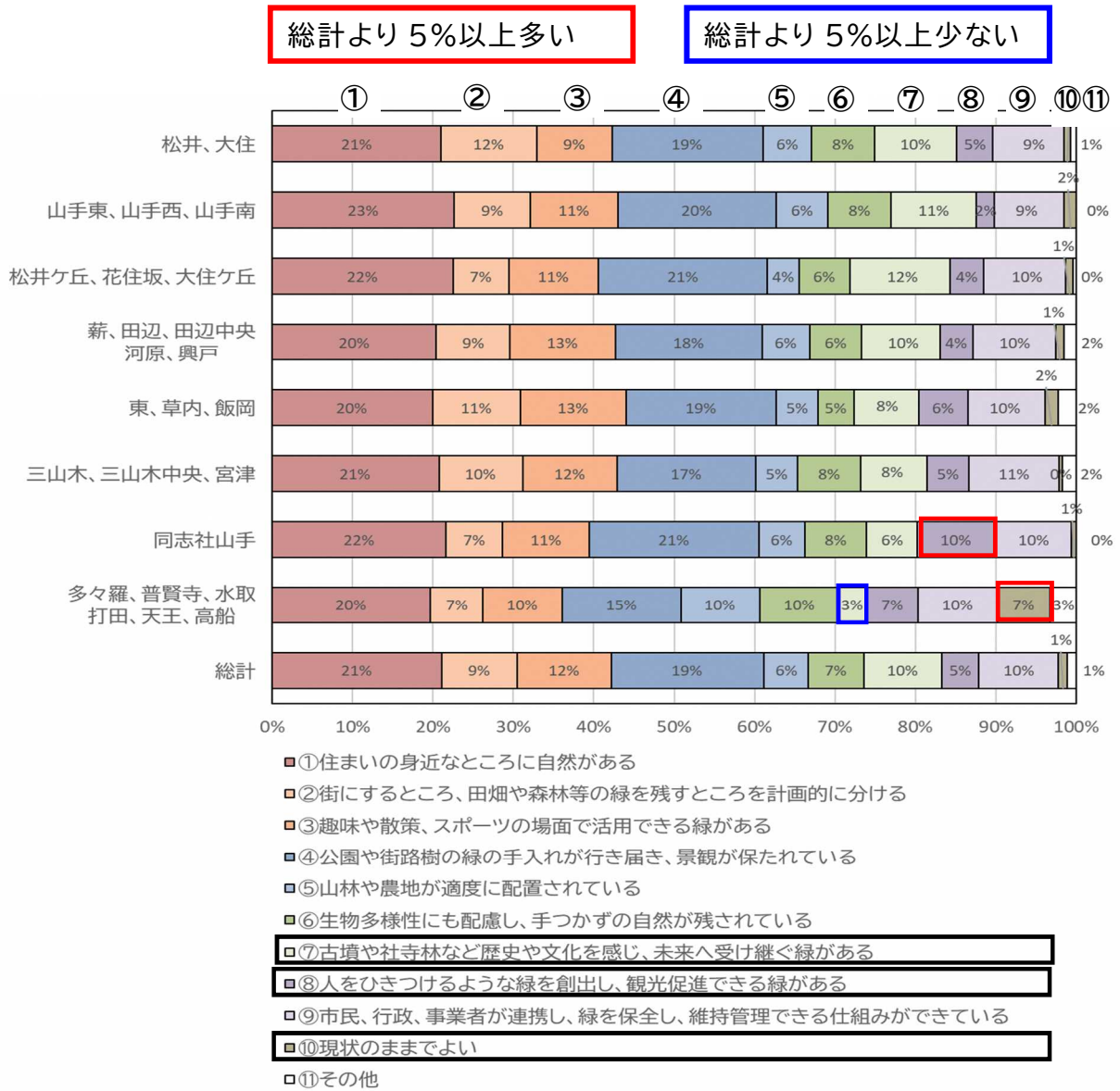
・三山木、三山木中央、宮津／多々羅、普賢寺、水取、打田、天王、高船

④「山」や「森」の割合が高い

【問 1】居住地とのクロス集計(2)

×

【問 2 2】京田辺市の10年後の緑の姿について、共感できるものは何ですか。



【問1:居住地】×【問 22:10 年後の緑の姿】

区分	◎:5%以上多い	×:5%以上少ない
同志社山手	⑧「観光促進」	
多々羅、普賢寺、水取、打田、天王、高船	⑩「現状のまま」	⑦「歴史」や「文化」

・同志社山手

⑧「観光促進」の割合が高い

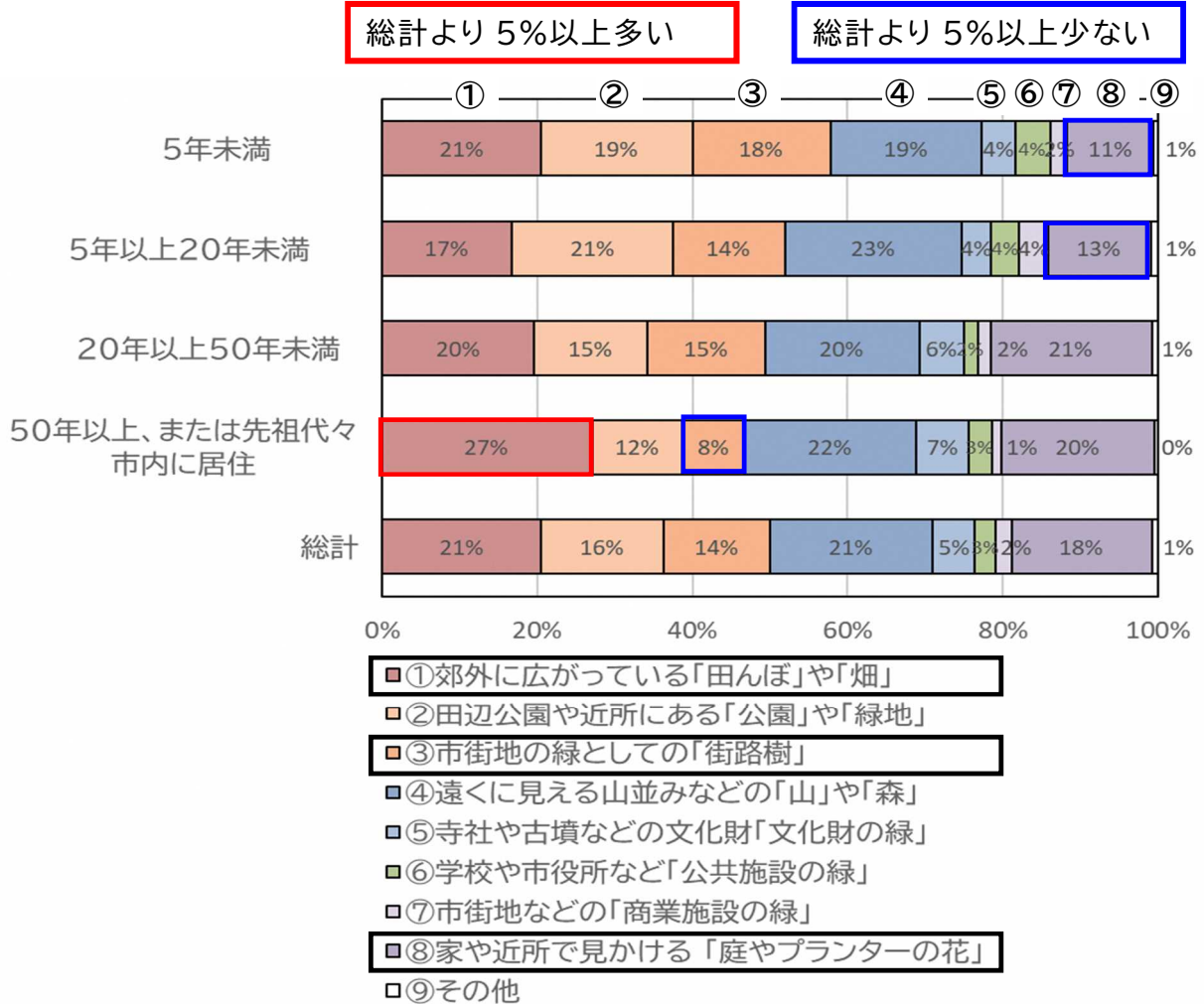
・多々羅、普賢寺、水取、打田、天王、高船

⑦「歴史」や「文化」の割合が低い

## 【問2】居住年数とのクロス集計(1)

×

【問5】あなたが市内で、気軽にふれあったり、見て楽しんだりする緑はどれですか。また、その頻度はどのくらいですか。



### 【問2:居住年数】×【問5:ふれあう・楽しむ緑】

区分	◎:5%以上多い	×:5%以上少ない
5年未満		⑧「庭やプランター」
5年以上20年未満		⑧「庭やプランター」
50年以上または先祖代々市内に居住	①「田んぼ」や「畑」	③「街路樹」

・5年未満／5年以上20年未満

⑧「庭やプランター」の割合が低い

・50年以上または先祖代々市内に居住

①「田んぼ」や「畑」の割合が高く、③「街路樹」の割合が低い

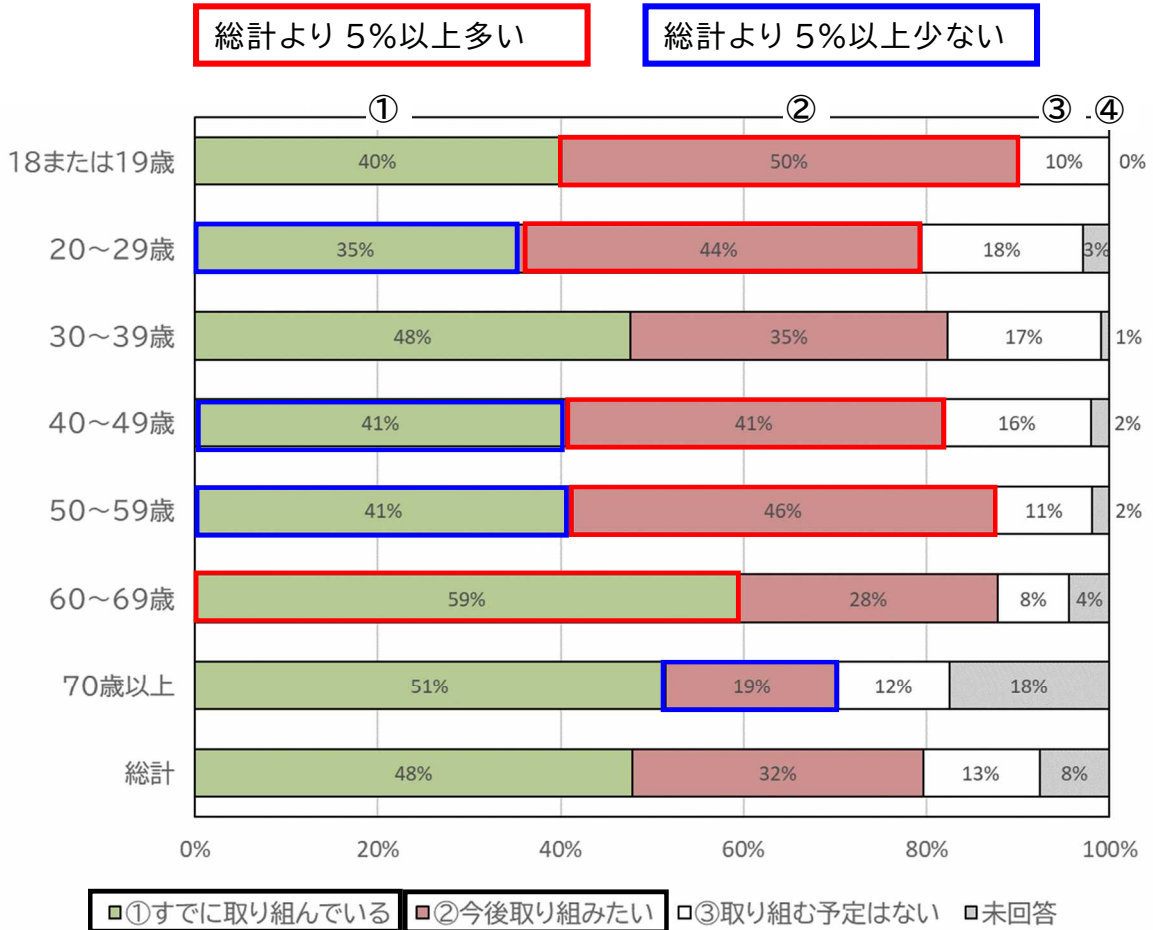


### 【問3】年齢とのクロス集計(1)

×

【問8】緑を使った趣味や<sup>けんこう</sup>健康づくりなど、あなたが取り組んでいる活動、または、今後取り組みたい活動はどれですか。

(1) 花や緑を楽しみながら、散歩やジョギング、サイクリングをする



【問3:年齢】×【問8(1):散歩やジョギング 取り組んでいる・取り組みたい】		
区分	◎:5%以上多い	×:5%以上少ない
18または19歳	②「今後」取り組みたい	
20～29歳	②「今後」取り組みたい	①「すでに」取り組んでいる
40～49歳	②「今後」取り組みたい	①「すでに」取り組んでいる
50～59歳	②「今後」取り組みたい	①「すでに」取り組んでいる
60～69歳	①「すでに」取り組んでいる	
70歳以上		②「今後」取り組みたい

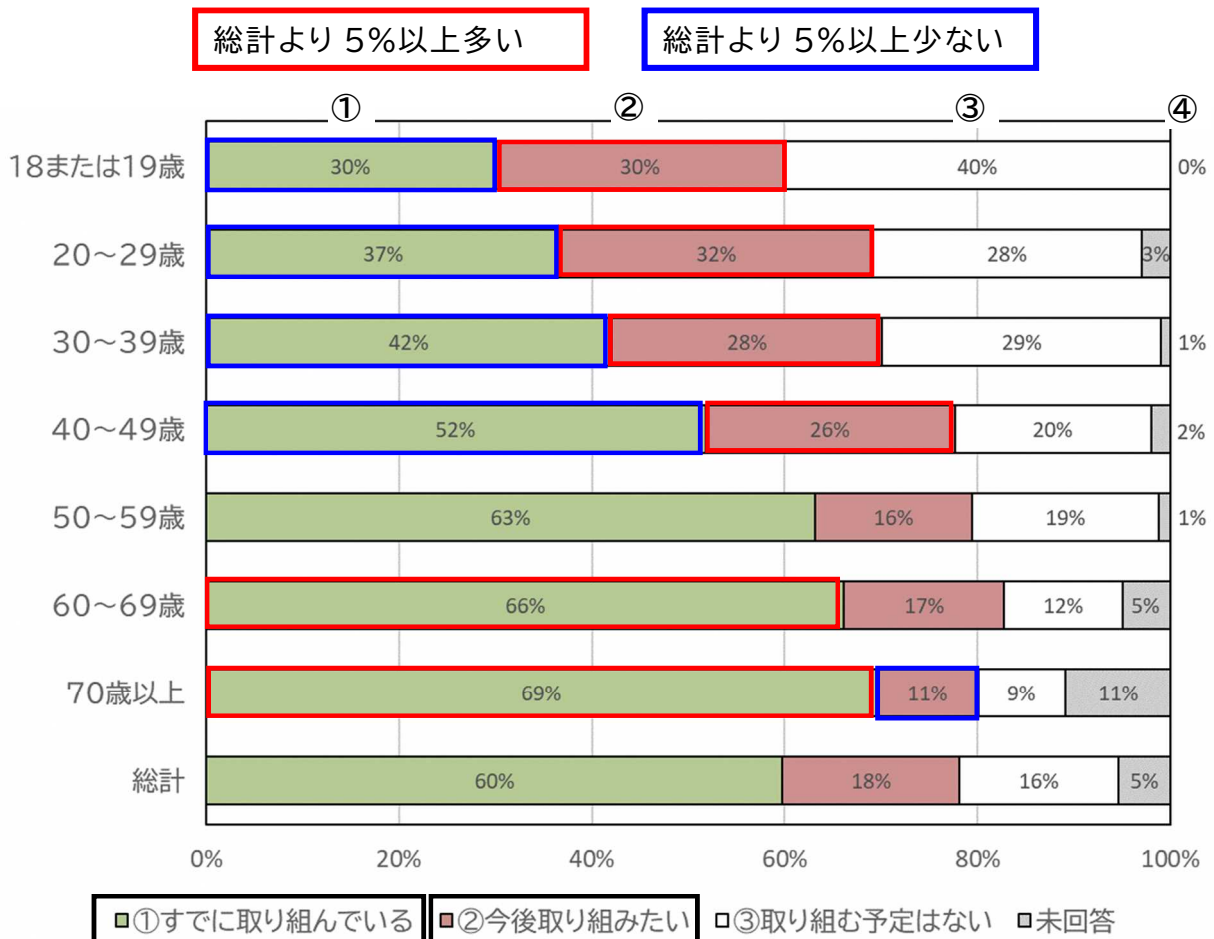
- ・18または19歳／20～29歳／40～49歳／50～59歳  
②「今後」取り組みたい の割合が高い
- ・20～29歳／40～49歳／50～59歳  
①「すでに」取り組んでいる の割合が低い
- ・60～69歳  
①「すでに」取り組んでいる の割合が高い
- ・70歳以上  
②「今後」取り組みたい の割合が低い

【問3】年齢とのクロス集計(2)

×

【問8】緑を使った趣味や<sup>けんこう</sup>健康づくりなど、あなたが取り組んでいる活動、または、今後取り組みたい活動はどれですか。

(2) 自宅のベランダや庭で、花や野菜、ハーブなどを育てる



【問3:年齢】×【問8(2):花や野菜などを育てる 取り組んでいる・取り組みたい】

区分	◎:5%以上多い	×:5%以上少ない
18または19歳	②「今後」取り組みたい	①「すでに」取り組んでいる
20～29歳	②「今後」取り組みたい	①「すでに」取り組んでいる
40～49歳	②「今後」取り組みたい	①「すでに」取り組んでいる
60～69歳	①「すでに」取り組んでいる	②「今後」取り組みたい
70歳以上	①「すでに」取り組んでいる	②「今後」取り組みたい

- ・18または19歳／20～29歳／40～49歳  
②「今後」取り組みたい の割合が高く  
①「すでに」取り組んでいる の割合が低い
- ・60～69歳／70歳以上  
①「すでに」取り組んでいる の割合が高い
- ・70歳以上  
②「今後」取り組みたい の割合が低い

【問3】年齢とのクロス集計(3)

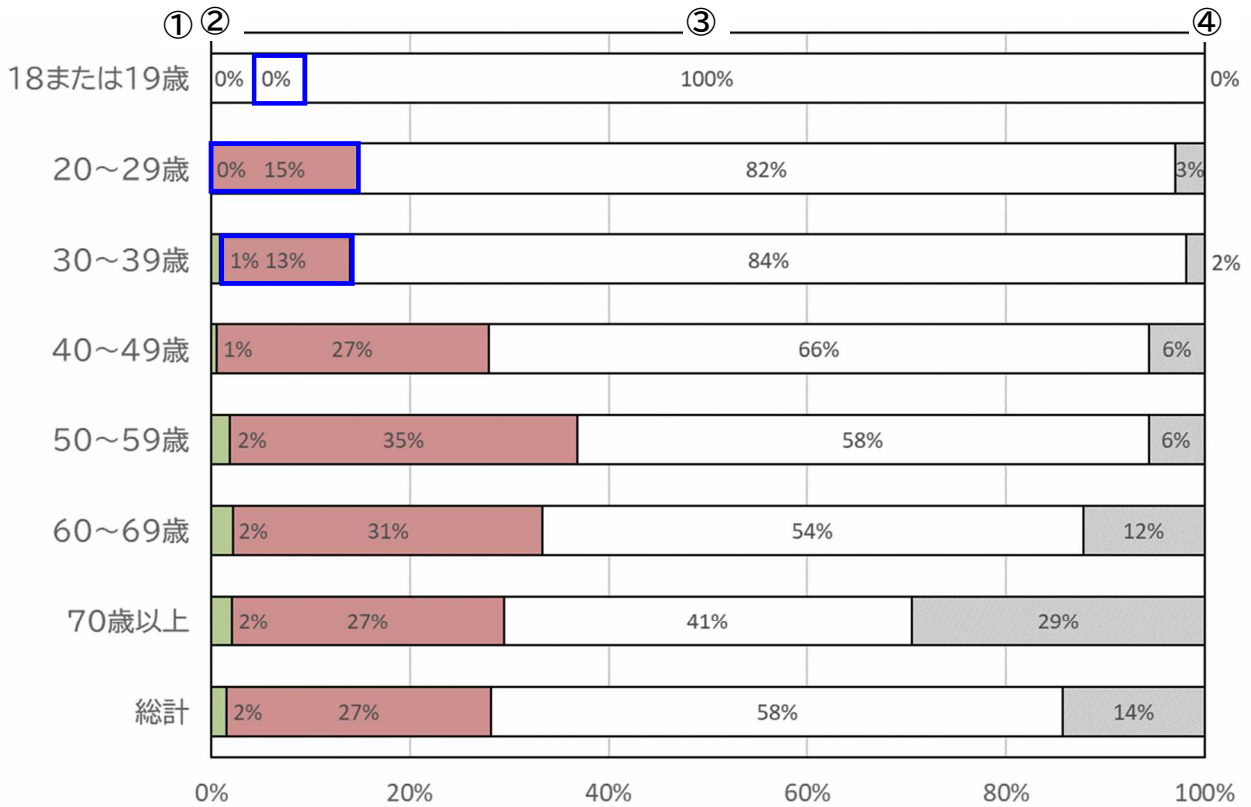
×

【問8】緑を使った趣味や<sup>けんこう</sup>健康づくりなど、あなたが取り組んでいる活動、または、今後取り組みたい活動はどれですか。

(3) 緑化や園芸の知識を増やすための講習会へ参加

総計より5%以上多い

総計より5%以上少ない



①すでに取り組んでいる
  ②今後取り組みたい
  ③取り組む予定はない
  未回答

【問3:年齢】×【問8(3):緑化や園芸の講習会 取り組んでいる・取り組みたい】

区分	◎:5%以上多い	×:5%以上少ない
18または19歳		②「今後」取り組みたい
20～29歳		②「今後」取り組みたい
30～39歳		②「今後」取り組みたい

・18または19歳/20～29歳/30～39歳

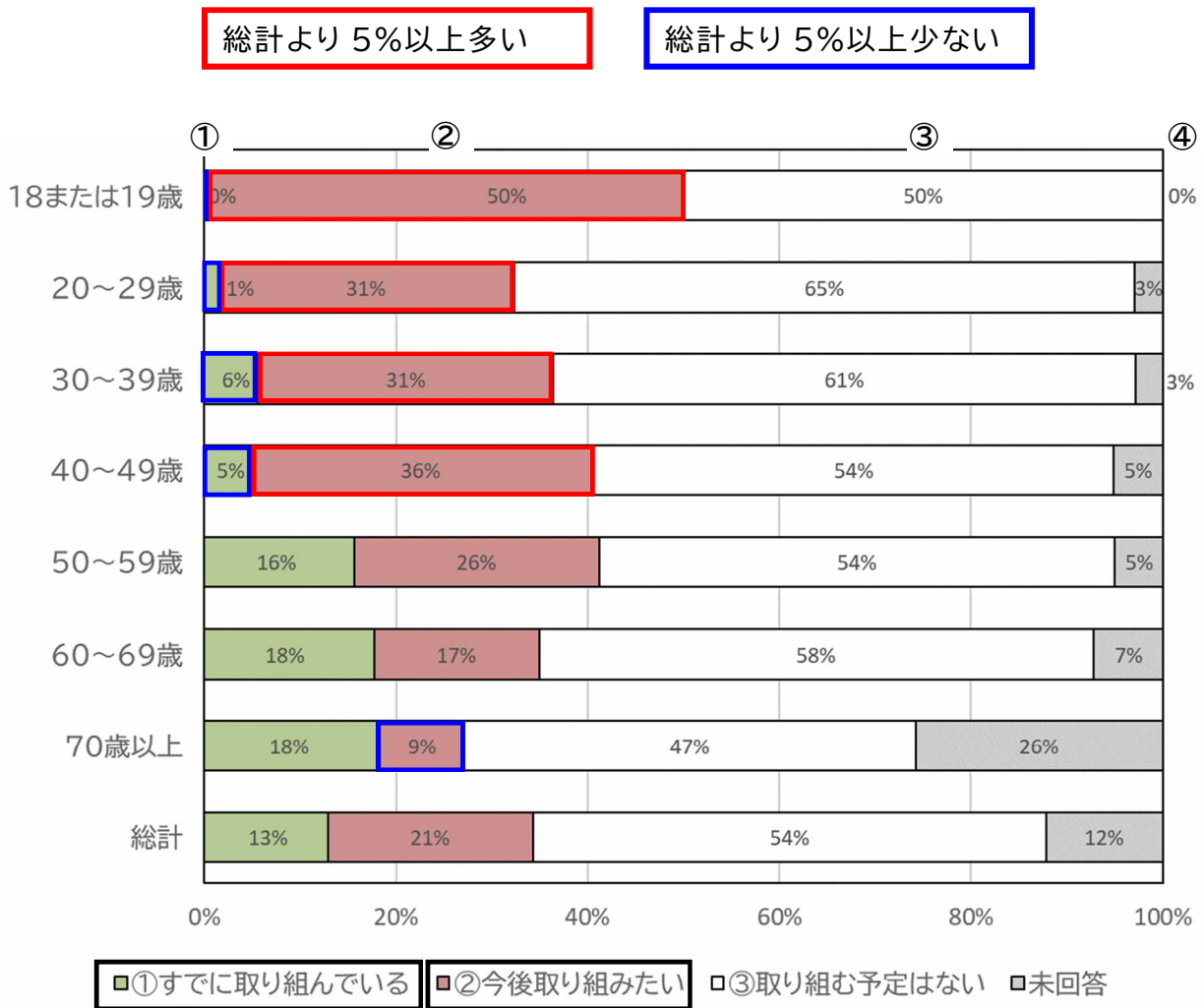
②「今後」取り組みたい の割合が低い

### 【問3】年齢とのクロス集計(4)

×

【問8】緑を使った趣味や<sup>けんこう</sup>健康づくりなど、あなたが取り組んでいる活動、または、今後取り組みたい活動はどれですか。

#### (4) 農業体験、貸し農園で野菜を栽培



#### 【問3:年齢】×【問8(4):農業体験、貸し農園 取り組んでいる・取り組みたい】

区分	◎:5%以上多い	×:5%以上少ない
18または19歳	②「今後」取り組みたい	①「すでに」取り組んでいる
20～29歳	②「今後」取り組みたい	①「すでに」取り組んでいる
30～39歳	②「今後」取り組みたい	①「すでに」取り組んでいる
40～49歳	②「今後」取り組みたい	①「すでに」取り組んでいる
70歳以上		②「今後」取り組みたい

・18または19歳／20～29歳／30～39歳／40～49歳

- ②「今後」取り組みたい の割合が高く、
- ①「すでに」取り組んでいる の割合が低い

・70歳以上

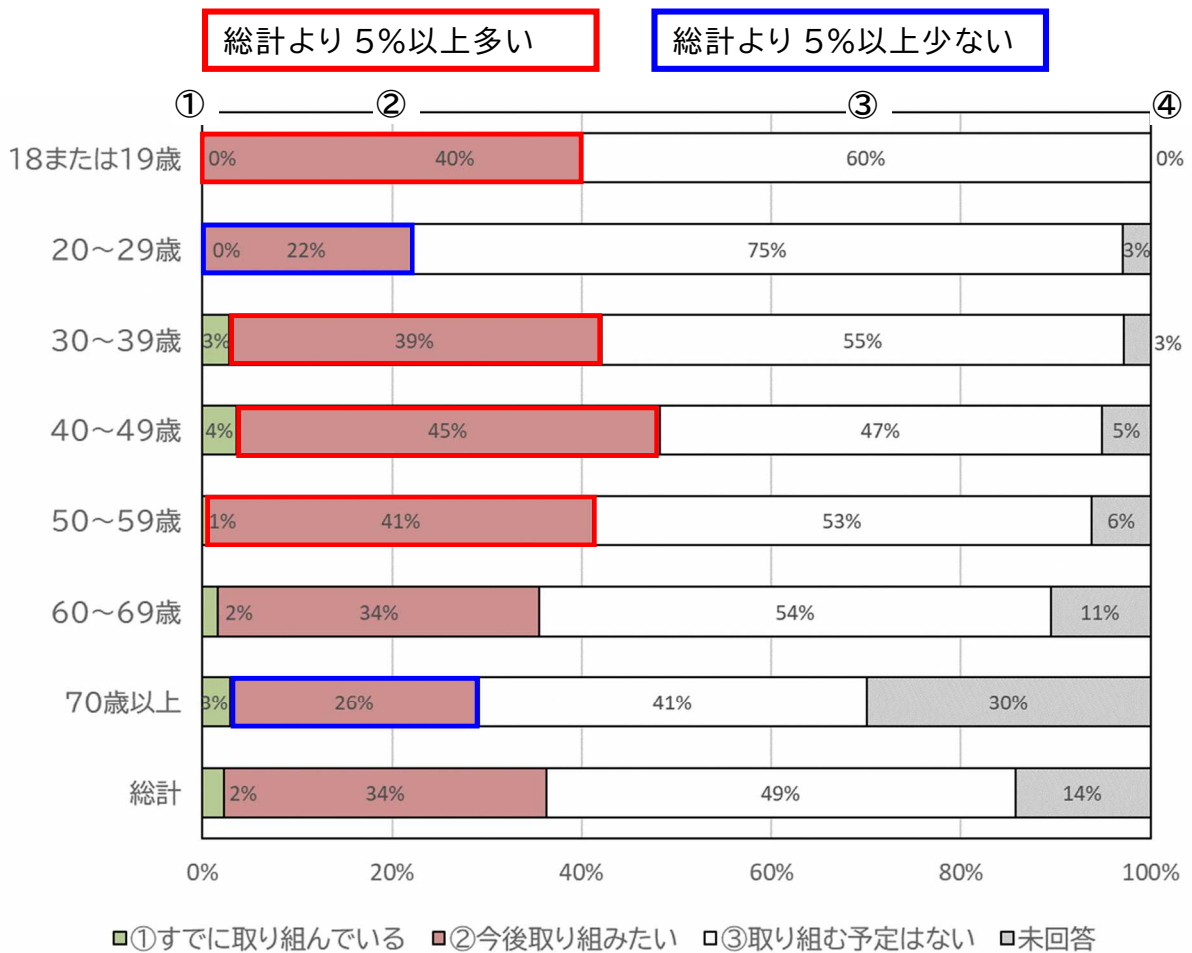
- ②「今後」取り組みたい の割合が低い

【問3】年齢とのクロス集計(5)

×

【問8】緑を使った趣味や<sup>けんこう</sup>健康づくりなど、あなたが取り組んでいる活動、または、今後取り組みたい活動はどれですか。

(5) 自然観察会など、緑や生き物を学ぶイベントに参加



【問3:年齢】×【問8(5):自然観察会 取り組んでいる・取り組みたい】

区分	◎:5%以上多い	×:5%以上少ない
18または19歳	◎②「今後」取り組みたい	
20～29歳		×②「今後」取り組みたい
30～39歳	◎②「今後」取り組みたい	
40～49歳	◎②「今後」取り組みたい	
50～59歳	◎②「今後」取り組みたい	
70歳以上		×②「今後」取り組みたい

・18または19歳／30～39歳／40～49歳／50～59歳

◎②「今後」取り組みたい の割合が高い

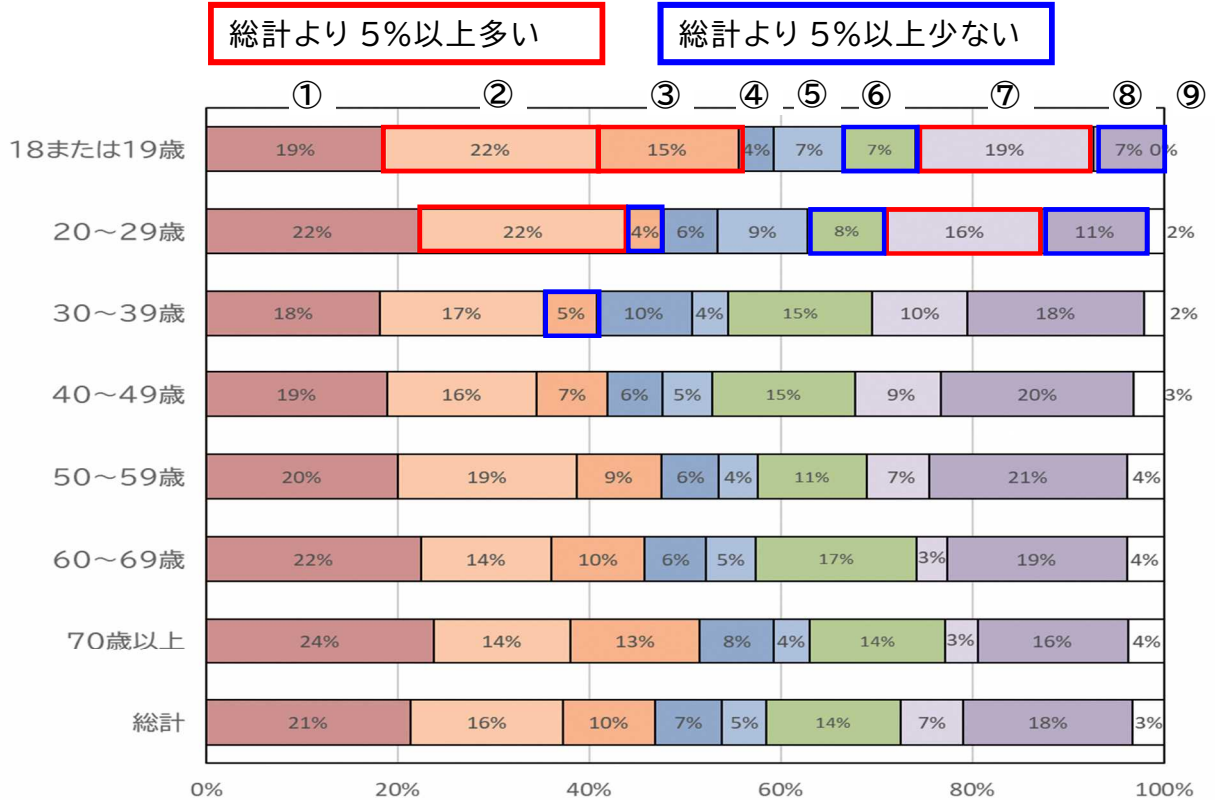
・20～29歳／70歳以上

×②「今後」取り組みたい の割合が低い

【問3】年齢とのクロス集計(6)

×

【問15】今後、市が大きな公園を作るとき、どんな施設があるとその公園に行きたくなくなりますか。



- ①芝生広場や休憩所など、オープンスペースが充実した安らげる公園
- ②レストラン、カフェや売店など、食事や買い物ができる公園
- ③防災トイレやかまどベンチなど、防災機能が充実した公園
- ④障がいの有無に関わらず、すべての子どもと一緒に遊べる遊具が整備された公園
- ⑤ペットといっしょに遊べるドッグランなどが設けられた公園
- ⑥植物や水辺など、子どもが自然を体験できる公園
- ⑦野球などのボール遊びや球技ができる公園
- ⑧駐車スペースが整い、公共交通も利用できるアクセス便利な公園
- ⑨その他

【問3:年齢】×【問15:大きな公園にあると行きたくなくなる施設】

区分	◎:5%以上多い	×:5%以上少ない
18または19歳	②「レストラン」や「カフェ」 ③「防災機能」 ⑦「ボール遊びや球技の場」	⑥「子どもの自然体験の場」 ⑧「駐車スペース」
20～29歳	②「レストラン」や「カフェ」 ⑦「ボール遊びや球技の場」	③「防災機能」 ⑥「子どもの自然体験の場」
30～39歳		③「防災機能」

・18または19歳／20～29歳

②「レストラン」や「カフェ」、⑦「ボール遊びや球技の場」の割合が高く

⑥「子どもの自然体験の場」の割合が低い

・20～29歳／30～39歳

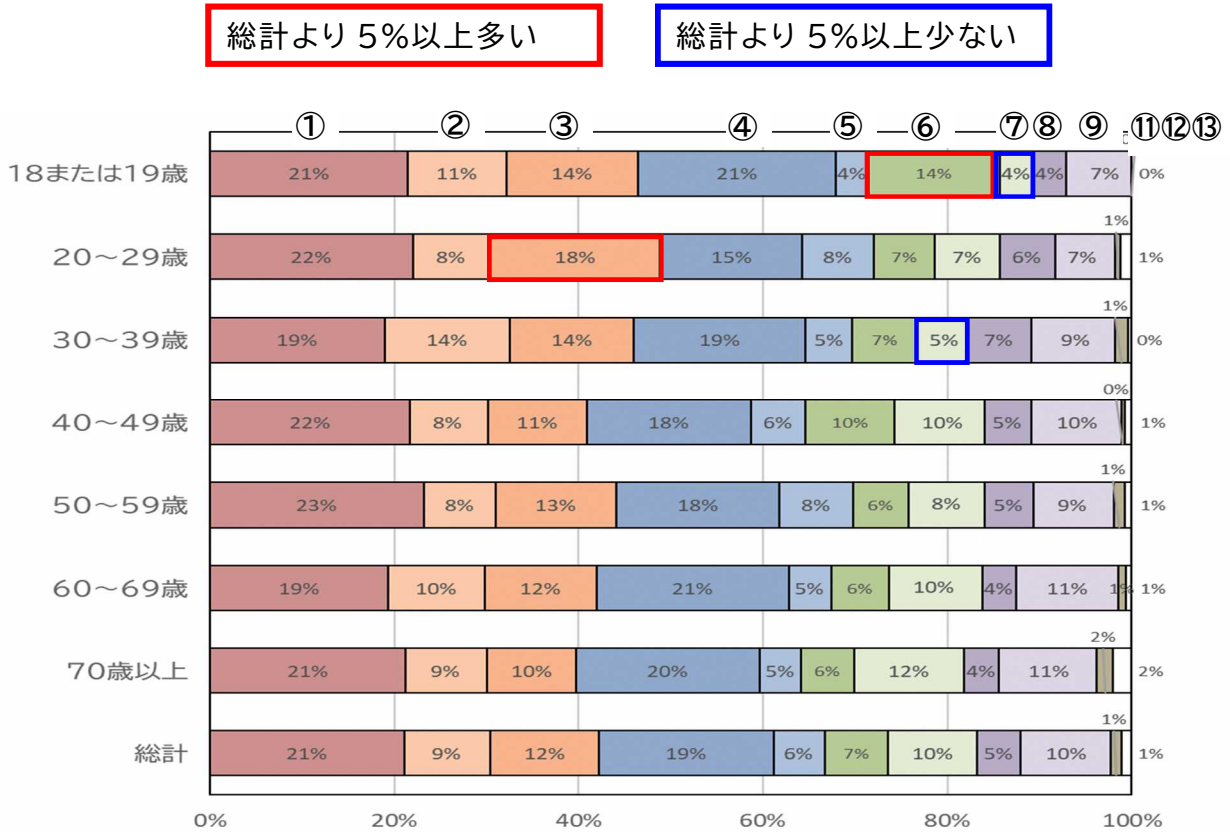
③「防災機能」の割合が低い



### 【問3】年齢とのクロス集計(7)

×

【問22】京田辺市の10年後の緑の姿について、共感できるものは何ですか。



- ①住まいの身近なところに自然がある
- ②街にするとところ、田畑や森林等の緑を残すところを計画的に分ける
- ③趣味や散策、スポーツの場面で活用できる緑がある
- ④公園や街路樹の緑の手入れが行き届き、景観が保たれている
- ⑤山林や農地が適度に配置されている
- ⑥生物多様性にも配慮し、手つかずの自然が残されている
- ⑦古墳や社寺林など歴史や文化を感じ、未来へ受け継ぐ緑がある
- ⑧人をひきつけるような緑を創出し、観光促進できる緑がある
- ⑨市民、行政、事業者が連携し、緑を保全し、維持管理できる仕組みができています
- ⑩現状のままでよい
- ⑪その他

#### 【問3:年齢】×【問22:10年後の緑の姿】

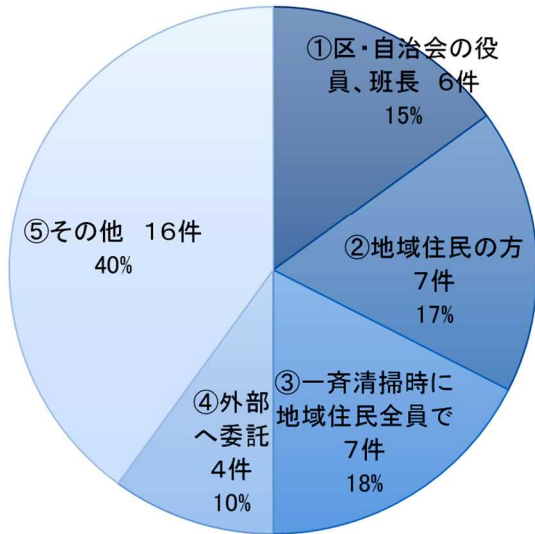
区分	◎:5%以上多い	×:5%以上少ない
18または19歳	⑥「手つかずの自然」	⑦「歴史」や「文化」
20～29歳	③「趣味」「散策」「スポーツ」	
30～39歳		⑦「歴史」や「文化」

- ・18または19歳
  - ⑥「手つかずの自然」の割合が高い
- ・20～29歳
  - ③「趣味」「散策」「スポーツ」の割合が高い
- ・18または19歳／30～39歳
  - ⑦「歴史」や「文化」の割合が低い

### Ⅲ 京田辺市の街区公園に関するアンケート調査 (区・自治会アンケート)

#### 1. 街区公園に関するアンケート調査結果

【問1】 (1) 日常の街区公園の維持管理はどなた(外部へ委託も含む)が行っていますか。



[自治会]

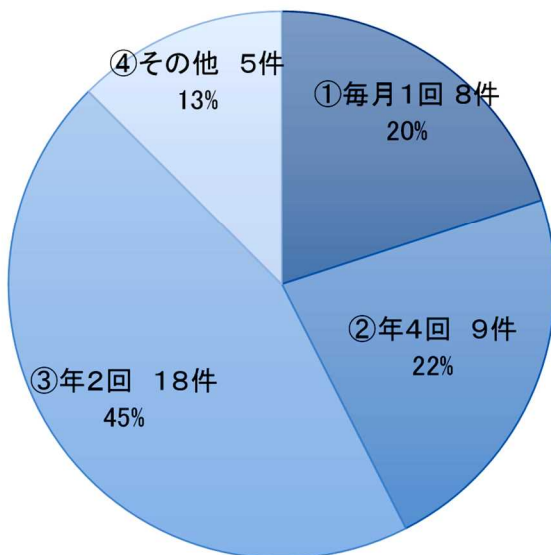
- ・①役員、②地域住民、③地域住民で全員が大半を占める。
- ・④外部委託も10%で見られる。

- ①区・自治会の役員、班長 6件
- ②地域住民の方 7件
- ③一斉清掃時に地域住民全員で 7件
- ④外部へ委託 4件
- ⑤その他 16件

⑤その他16件の内訳  
(①～④の組み合わせ)

- ①② 6件
- ①④ 3件
- ①③④ 2件
- ③④ 2件
- ①②③④ 1件
- ①②④ 1件
- ①③ 1件

【問2】 (2) 日常の街区公園の維持管理は、どれくらいの頻度で行っていますか。



- ①毎月1回 8件
- ②年4回 9件
- ③年2回 18件
- ④その他 5件

④その他の内容

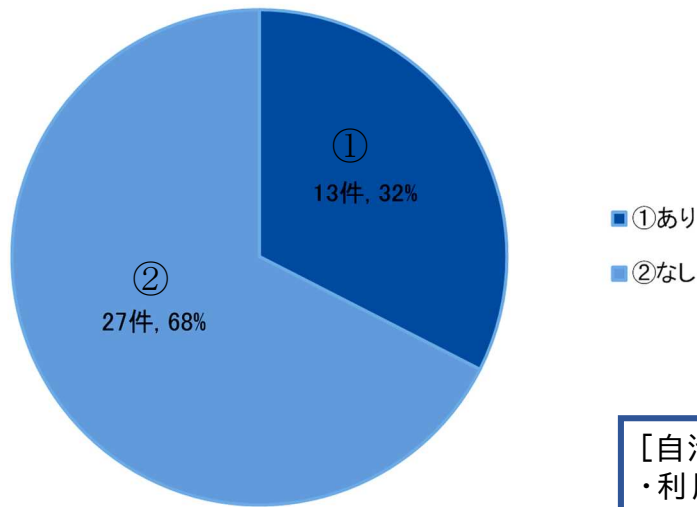
- 月2回 1件
- 年2～4回 1件
- 年3回 1件
- 年1回 1件
- 草が伸びたとき 1件

[自治会]

- ・③年2回が45%と最も多い。
- ・①毎月1回、年4回が20%、22%と続いている。

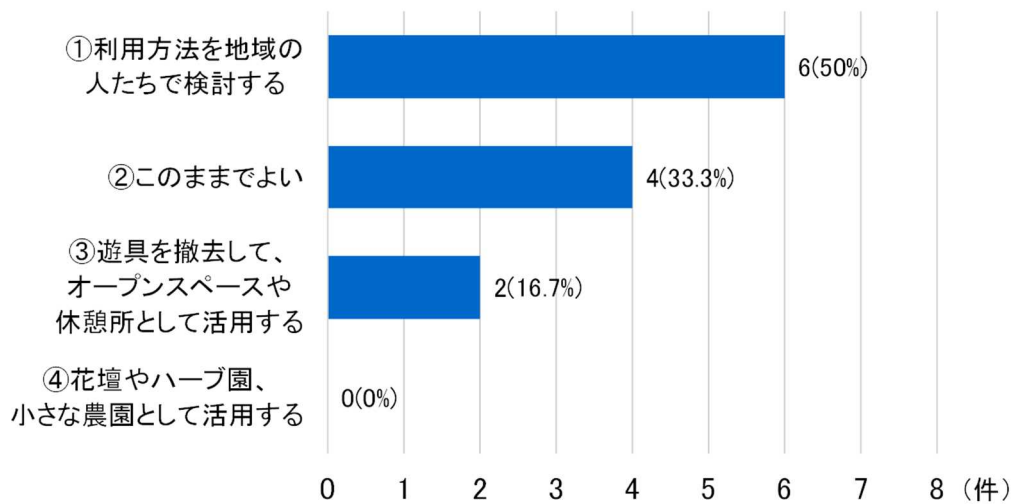


【問3】(1)区・自治会内でほとんど  
利用されていない公園はありますか。



[自治会]  
・利用されてない公園が ①あり  
の自治会が 32%にある。

【問3】(2)上記で①であると回答された場合、  
今後の活用方法について考えられることがあれば教えてください。  
(複数回答あり)



[自治会]  
・①利用方法を地域の人たちで検討するが50%と最も多い。  
・②このままで良いという回答も33%を占める。

※街区公園に関する自由意見

1)公園
整備された公園では、多くの人達が利用している。どの公園も維持管理すれば、利用者は増えると思う。
住民からの声もあり、遊具や遊びが制限されます。子供がのびのびと遊べる公園を整備して欲しいです。苦情とルールを守るバランスが難しいところではありますが・・・。
公園の定期的点検も必要だと思います。点検に関するマニュアル等があれば自治会活動でも活かせるのではないかと考えます。
街区公園の利用方法については、市の主催で自治会ごとに地域住民を集めてワークショップを開催していただき、有益な利用方法を決めてください。
日常の維持管理は地元区、自治会が行うことはやむを得ないと思う。
公園の清掃時、管理維持への協力が年々難しくなっている。 遊んでいる親が清掃してくれるので維持管理は出来ている。
高齢化が進み、かなり管理が負担になっております。